

施設アセスメントシート

(建物等評価編)

警察施設

静岡県

目 次

警察学校（警察資料館）	1
中部運転免許センター	3
警察本部交通管制センター	5
静岡県警察沼津合同庁舎	7
静岡県警察航空隊基地	9
交通機動隊東部支隊	11
警察本部沼津分館	13
西部運転免許センター	15
静岡県警察本部清水分庁舎	17
東部運転免許センター	19
警察本部機動隊（道場）	21
下田警察署須崎警備隊	23
下田警察署	25
下田警察署松崎分庁舎	27
大仁警察署	29
三島警察署	31
伊東警察署	33
熱海警察署本署	35
沼津警察署本署	37
沼津警察署三園分庁舎	39
裾野警察署	41
御殿場警察署庁舎	43
富士警察署	45
富士宮警察署	47
清水警察署	49
清水警察署蒲原分庁舎	51
静岡中央警察署本署	53
静岡南警察署	55
藤枝警察署	57
焼津警察署	59
島田警察署	61
牧之原警察署	63
菊川警察署	65
掛川警察署（新）	67
磐田警察署	69
天竜警察署	71
天竜警察署水窪分庁舎	73
浜松中央警察署	75
浜松東警察署	77
浜北警察署	79
湖西警察署	81

細江警察署	83
袋井警察署森分庁舎	85
袋井警察署	87

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011003	施設名称	警察学校(警察資料館)		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	教育施設		設置年	2001	
	施設目的	警察職員に対し、新任者に対する教育訓練その他所要の教育訓練を行う。				内部
	敷地面積	0.00 m ²		延床面積	4,521.63 m ²	
	土地台帳価格	0 千円		建物台帳価格	343,645 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	23,750 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: JR藤枝駅から バス45分				

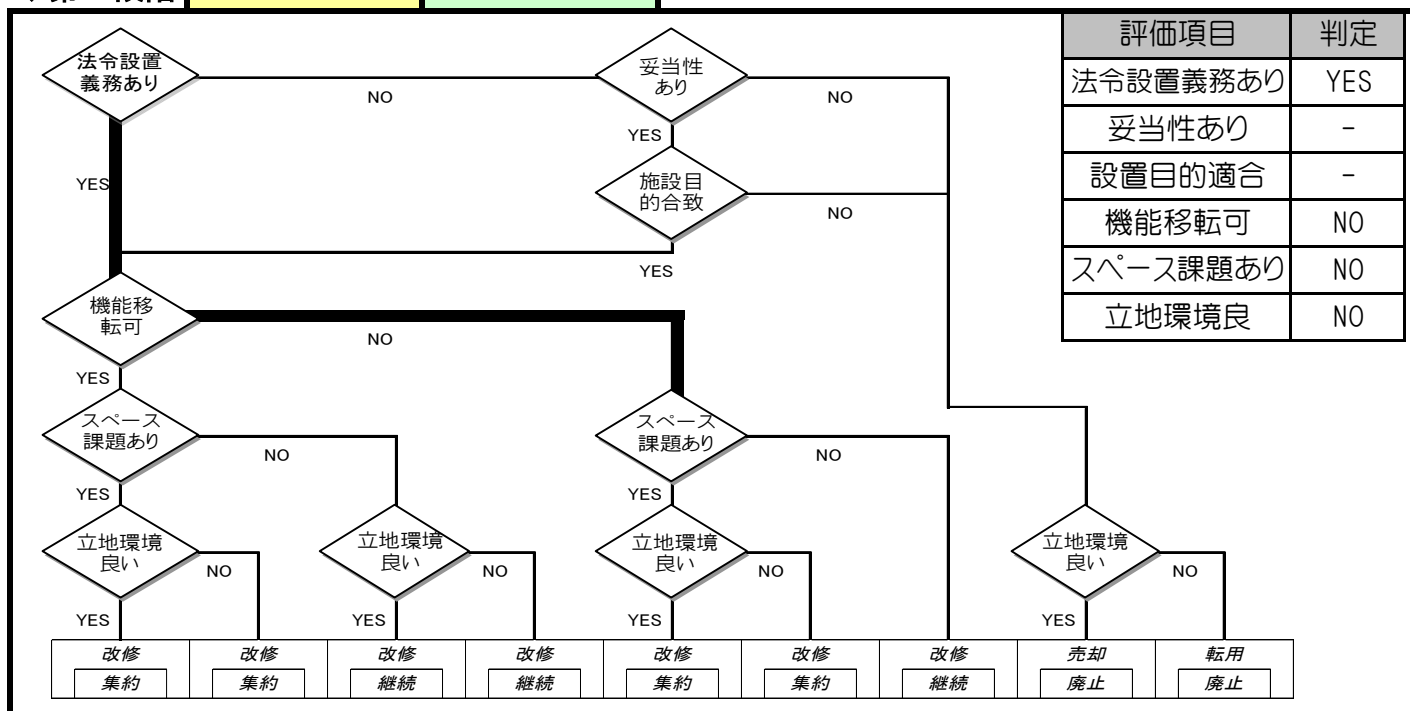
◆ 第1段階 A2 品質 1.98点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	26.4年	2.14点
品質	建築劣化度	屋上防水	1994.3年 1.65点
		外壁	1994.3年 1.65点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1993.9年 1.43点
		受変電設備	1990.1年 1.43点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	-
供給	入学試験倍率	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	850円 (41.18)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	608	百万円	維持管理費 B(※2)	101	百万円
	使用年数 A(※1)	26.4	年	小計	709	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	145	百万円	維持管理費 (※3)	38	百万円
	大規模改修費	239	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	423	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	145	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	975	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,623	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	年間を通じ、警察職員に対し教育訓練その他所要の教育訓練を行っている。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011007	施設名称	中部運転免許センター	外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課	
	用途	警察施設	設置年	2008	内部
	施設目的	運転免許証の更新業務、運転試験業務、違反者講習等の運転免許業務のため			
	敷地面積	52,743.26 m ²	延床面積	8,777.42 m ²	
	土地台帳価格	4,049,202 千円	建物台帳価格	1,482,918 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	51,541 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から バス30分			

◆ 第1段階 A3 品質 2.95点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	8.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2008.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.0年 3.00点
		受変電設備	2008.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.71GJ (45.79)	2.00点
供給	面積/人数	6.27m ² (46.54)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	112,255円 (43.49)	3.00点
財務	コスト/面積	1,880円 (42.65)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,648	百万円	維持管理費 B(※2)	5	百万円
	使用年数 A(※1)	8.0	年	小計	1,653	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	506	百万円	維持管理費 (※3)	7	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	513	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	506	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,491	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,026	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	平日や日曜日の免許更新等県民に対する運転免許事務を行っている。
これまでの保全の状況	外壁改修工事(H26年度 5,222千円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **継続**

補 施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。
足 ※敷地が広大であるが、施設用途として必要な面積であるため、スペースの課題あり「NO」とする。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011010	施設名称	警察本部交通管制センター		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1975	
	施設目的	信号機を効率的に制御して車両の円滑な流れを確保し、ドライバーに対し交通情報を提供する。				内部
	敷地面積	749.82 m ²	延床面積	1,076.11 m ²		
	土地台帳価格	121,042 千円	建物台帳価格	107,909 千円		
	用途地域	近隣商業地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から バス10分				

◆ 第1段階 C2 品質 2.00点 供給・財務 1.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2012.0年 3.00点
		外壁	2012.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.0年 3.00点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	5.59GJ	-(95.70) 1.00点
供給	面積/人数	10.86m ²	(55.76) 2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	1,065,749円	(60.88) 1.00点
財務	コスト/面積	13,865円	(59.81) 1.00点

○グラフ表示

品質

◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 移転

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	147	百万円	維持管理費 B(※2)	139	百万円
	使用年数 A(※1)	41.0	年	小計	286	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	31	百万円	維持管理費 (※3)	34	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	65	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	62	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	305	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	494	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	施設の老朽化及び災害発生時において交通管制機能を活用した災害警備本部等との一体運用による危機管理機能の強化を図るため、将来の移転等について検討している。
現在の利用状況	交通管制エリア内の信号制御、県内交通情報の収集・提供など、交通管制の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	当該施設は県内交通管制の主管施設であるが、築40年を経過し老朽化が進んでいることから、今後、施設の最適地があれば移転のうえ売却、なければ継続して改修を検討
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **売却**

運用面: **移転**

補足

老朽化等に伴う施設の更新・改修等の企画をする際には移転・売却を検討する施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011012	施設名称	静岡県警察沼津合同庁舎		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1978	
	施設目的	すべての警察事象に即応する自動車警ら隊、機動捜査隊の活動拠点				内部
	敷地面積	832.75 m ²	延床面積	346.40 m ²		
	土地台帳価格	60,196 千円	建物台帳価格	1,789 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	77,000 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR沼津駅から 徒歩30分 タクシー10分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.05点 供給・財務 2.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1978.0年 1.00点
		外壁	2011.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	1978.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.91GJ (40.02)	1.00点
供給	面積/人数	4.25m ² (42.50)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	104,529円 (43.35)	3.00点
財務	コスト/面積	7,242円 (50.33)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	39	百万円	維持管理費 B(※2)	52	百万円
	使用年数 A(※1)	38.0	年	小計	91	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	20	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	78	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	112	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	20	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	98	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	159	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	耐震補強工事(H23年度 42,806千円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011013	施設名称	静岡県警察航空隊基地		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1979	
	施設目的	警ら、遭難者の捜索・救助及び各種警察業務の支援を行う航空機の運用(拠点)施設				内部
	敷地面積	7,290.82 m ²	延床面積	270.80 m ²		
	土地台帳価格	297,882 千円	建物台帳価格	37,875 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	25,100 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:-から --				

◆ 第1段階 A2 品質 2.05点 供給・財務 2.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2008.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1979.0年 1.00点
		受変電設備	1979.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.47GJ (23.72)	1.00点
供給	面積/人数	4.65m ² (43.30)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	130,168円 (43.82)	3.00点
財務	コスト/面積	9,614円 (53.73)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良い	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	31	百万円	維持管理費 B(※2)	52	百万円
	使用年数 A(※1)	37.0	年	小計	83	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	16	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	61	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	91	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	16	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	77	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	124	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	航空機の運用拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	第2段階においては集約・改修とされたが、当該施設は航空機の運用拠点であることから集約はできない。継続・改修が妥当
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足 施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設。
※敷地が広大であるが、施設用途として必要な面積であるため、スペースの課題あり「NO」とする。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011021	施設名称	交通機動隊東部支隊		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設	設置年	1988		
	施設目的	交通指導・取締りを行う交通機動隊の活動拠点施設				内部
	敷地面積	816.98 m ²	延床面積	570.49 m ²		
	土地台帳価格	110,993 千円	建物台帳価格	51,651 千円		
	用途地域	近隣商業地域	路線価	100,000 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:-から ---				

◆ 第1段階 A2 品質 1.80点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2005.0年	2.00点
		外壁 1988.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1988.0年	1.00点
		受変電設備 1988.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.41GJ (54.34)	2.00点
供給	面積/人数	6.87m ² (47.75)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	61,398円 (42.56)	3.00点
財務	コスト/面積	1,614円 (42.27)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良い	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	76	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	28.0	年	小計	76	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	33	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	33	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	33	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	162	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	262	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011023	施設名称	警察本部沼津分館		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1979	
	施設目的	捜査活動拠点施設				内部
	敷地面積	909.52 m ²	延床面積	265.50 m ²		
	土地台帳価格	114,470 千円	建物台帳価格	17,729 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	100,000 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:-から ---				

◆第1段階 A2 品質 1.75点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1979.0年	1.00点
		外壁 1979.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1979.0年	1.00点
		受変電設備 1979.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.85)	3.00点
供給	面積/人数	7.00m ² (48.02)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	16,503円 (41.74)	3.00点
財務	コスト/面積	870円 (41.21)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	34	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	37.0	年	小計	34	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	15	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	60	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	75	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	15	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	75	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	122	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011024	施設名称	西部運転免許センター		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1992	
	施設目的	運転免許証の更新業務、運転試験業務、違反者講習等の運転免許業務のため				内部 
	敷地面積	35,691.54 m ²	延床面積	6,899.86 m ²		
	土地台帳価格	1,935,549 千円	建物台帳価格	1,271,257 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	38,003 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:遠州鉄道 遠州小松駅から 徒歩15分 タクシー5分				

◆第1段階 **B1** 品質 1.65点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	24.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1992.0年 1.00点
		外壁	1992.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1992.0年 1.00点
		受変電設備	1992.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.87GJ (41.18)	1.00点
供給	面積/人数	8.69m ² (51.42)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	827,110円 (56.53)	1.00点
財務	コスト/面積	7,073円 (50.09)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,087	百万円	維持管理費 B(※2)	580	百万円
	使用年数 A(※1)	24.0	年	小計	2,667	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	398	百万円	維持管理費 (※3)	241	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	639	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	398	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,958	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,165	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	平日や日曜日の免許更新等県民に対する運転免許事務を行っている。
これまでの保全の状況	外壁改修工事(H24年度 17,131千円) 吸収式冷温水発生機伝熱管取替工事(H27年度 14,472千円)
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めつつ、コスト面等の改善を図る必要がある施設。 ※敷地が広大であるが、施設用途として必要な面積であるため、スペースの課題あり「NO」とする。
----	--

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011025	施設名称	静岡県警察本部清水分庁舎		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1994	
	施設目的	警察本部の分庁舎である他、機動捜査隊、自動車警ら隊等の執行隊の拠点施設				内部
	敷地面積	4,300.16 m ²	延床面積	7,772.64 m ²		
	土地台帳価格	354,069 千円	建物台帳価格	2,210,180 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	57,637 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡鉄道狐ヶ崎駅から 徒歩10分 タクシー5分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.85点 供給・財務 2.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	22.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1994.0年 1.00点
		外壁	2012.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1994.0年 1.00点
		受変電設備	1994.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	2.21GJ (2.13)	1.00点
供給	面積/人数	7.22m ² (48.45)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	254,991円 (46.10)	2.00点
財務	コスト/面積	7,841円 (51.19)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,684	百万円	維持管理費 B(※2)	463	百万円
	使用年数 A(※1)	22.0	年	小計	4,147	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	448	百万円	維持管理費 (※3)	210	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	658	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	448	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,206	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,565	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	鑑識課システム機械室空調機更新工事(H25年度 6,300,000円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011026	施設名称	東部運転免許センター		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	1997	
	施設目的	運転免許の更新業務、運転試験業務、違反者講習等の運転免許業務のため				内部 
	敷地面積	46,639.36 m ²	延床面積	6,558.51 m ²		
	土地台帳価格	1,420,702 千円	建物台帳価格	2,528,970 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	21,323 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR沼津駅からバス20分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.60点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	19.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.0年 2.00点
		外壁	2010.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1997.0年 2.00点
		受変電設備	1997.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.91GJ (40.03)	1.00点
供給	面積/人数	9.46m ² (52.95)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	943,651円 (58.66)	1.00点
財務	コスト/面積	6,619円 (49.44)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,794	百万円	維持管理費 B(※2)	462	百万円
	使用年数 A(※1)	19.0	年	小計	4,256	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	378	百万円	維持管理費 (※3)	243	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	621	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	378	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,862	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,008	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	平日や日曜日の免許更新等県民に対する運転免許事務を行っている。
これまでの保全の状況	
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補 施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。
 足 ※敷地が広大であるが、施設用途として必要な面積であるため、スペースの課題あり「NO」とする。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	901020011042	施設名称	警察本部機動隊(道場)		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	施設課		
	用途	警察施設		設置年	2001	
	施設目的	治安警備、災害警備及び警察本部長から命令された警察活動に資するため				内部
	敷地面積	22,037.60 m ²		延床面積	442.51 m ²	
	土地台帳価格	453,880 千円		建物台帳価格	66,949 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	14,417 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:-から ---				

◆第1段階 B3 品質 2.58点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	15.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2001.0年 2.00点
		外壁	2001.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2001.0年 2.00点
		受変電設備	2001.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	8,197円 (51.70)	2.00点

○グラフ表示

品質

◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	84	百万円	維持管理費 B(※2)	54	百万円
	使用年数 A(※1)	15.0	年	小計	138	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	26	百万円	維持管理費 (※3)	36	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	62	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	26	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	126	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	203	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	



□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補 施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。
 足 ※敷地は広大であるが、大部分を国施設であるため、スペースの課題あり「NO」とする。

施設アセスメントシート

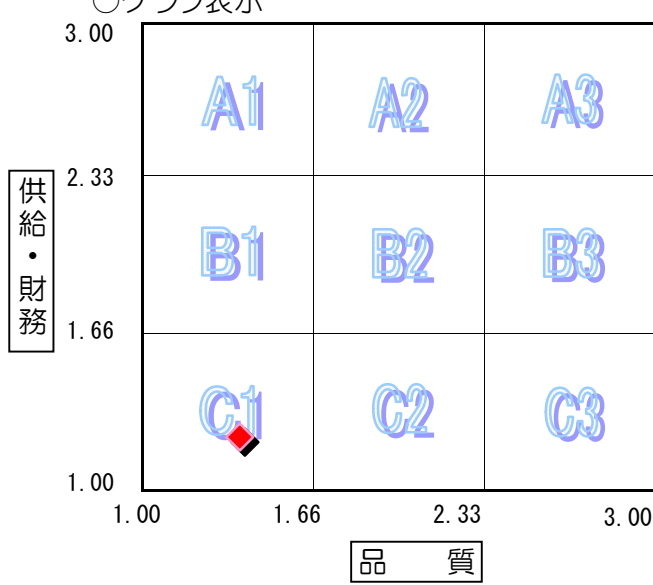
基本情報	施設番号	907003011002	施設名称	下田警察署須崎警備隊	外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	下田警察署		
	用途	警察施設	設置年	1971	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	1,046.91 m ²	延床面積	725.31 m ²		
	土地台帳価格	37,838 千円	建物台帳価格	7,474 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	59,899 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆急下田駅から 徒歩50分 タクシー10分				

◆ 第1段階 C1 品質 1.40点 供給・財務 1.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

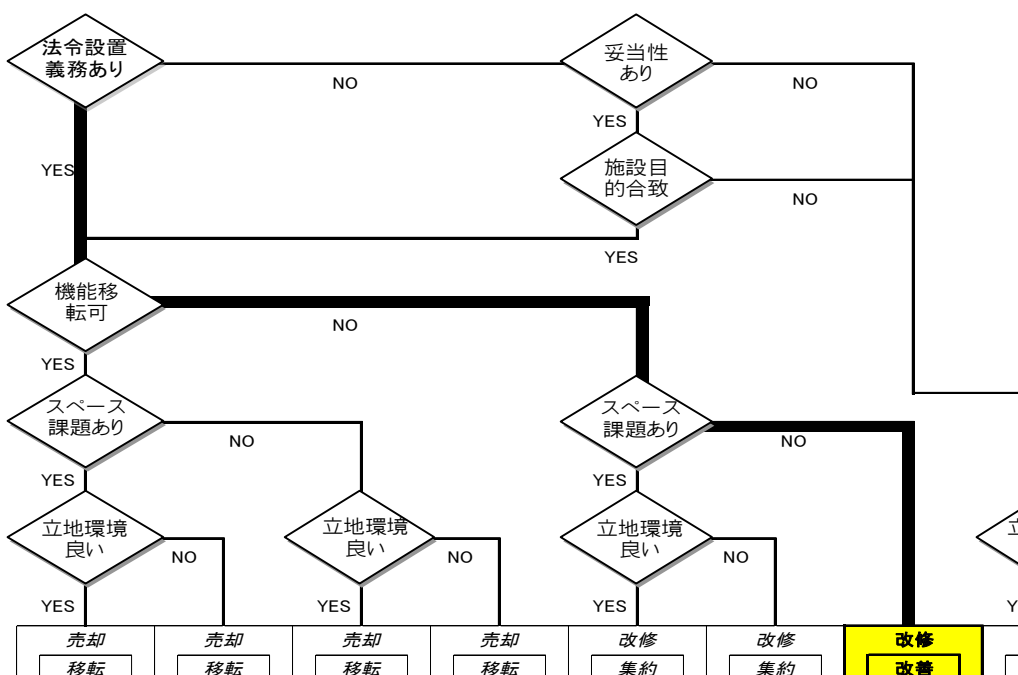
品質	建築後経過年数	45.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2004.0年	2.00点
		外壁 1971.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1971.0年	1.00点
		受変電設備 1971.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.81)	3.00点
供給	面積/人数	18.83m ² (71.78)	1.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (45.04)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	5件 (34.08)	1.00点
財務	コスト/人	1,442,101円 (67.75)	1.00点
財務	コスト/面積	11,930円 (57.04)	1.00点

○グラフ表示



品 質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	39	百万円	維持管理費 B(※2)	1	百万円
	使用年数 A(※1)	45.0	年	小計	40	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	42	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	273	百万円
	解体費	17	百万円	小計	333	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	42	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	206	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	333	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察業務の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H21 耐震補強。約5,000万円。 H27 車庫外部改修。約680万円。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

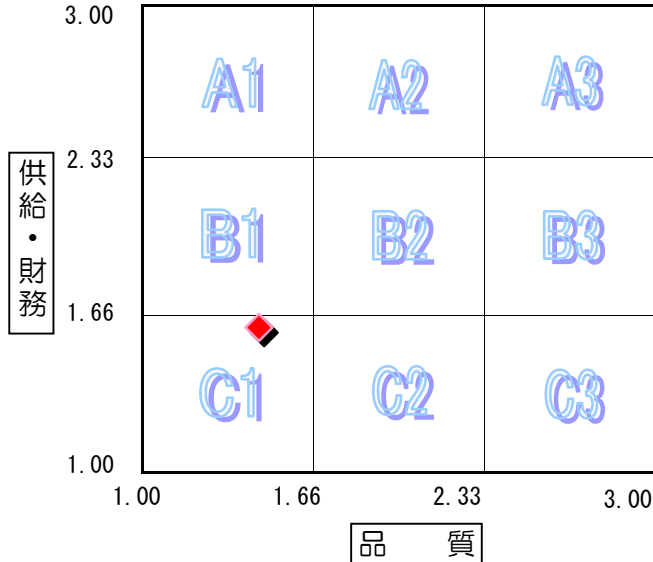
基本情報	施設番号	907003011101	施設名称	下田警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	下田警察署		
	用途	警察施設		設置年	1973	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	4,020.62 m ²	延床面積	3,248.44 m ²		内部 
	土地台帳価格	344,044 千円	建物台帳価格	242,379 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	59,899 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆急下田駅から 徒歩15分 タクシー5分				

◆第1段階 **C1** 品質 1.48点 供給・財務 1.60点

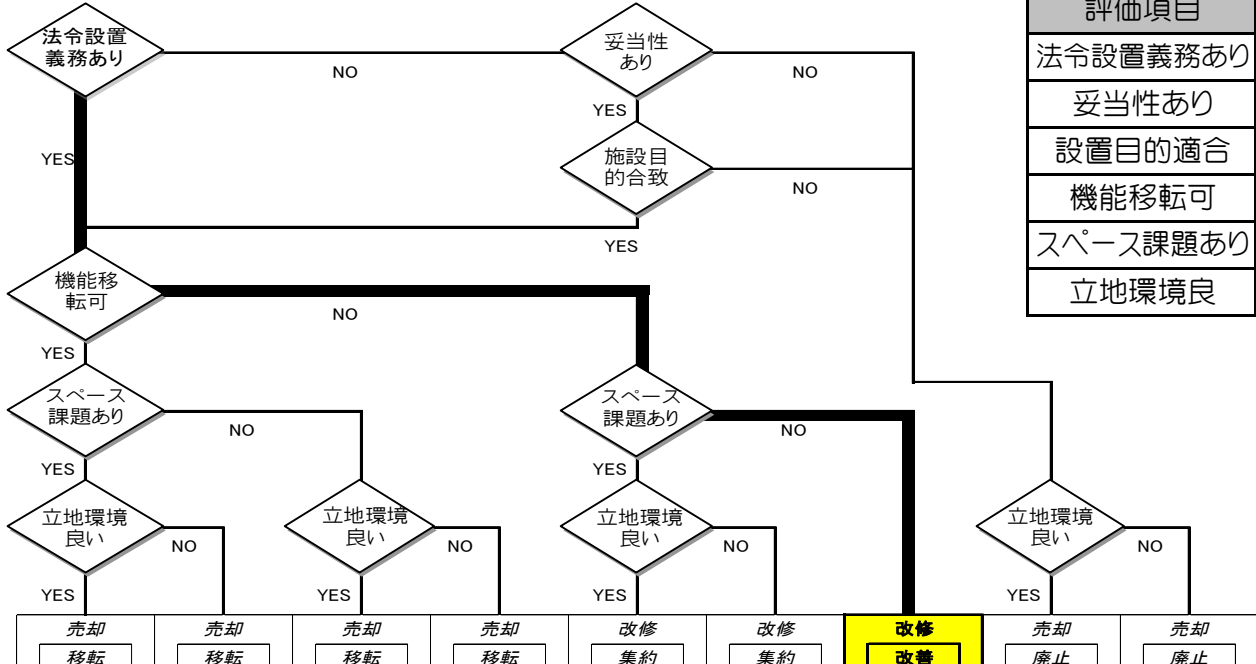
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.6年	1.40点
品質	建築劣化度	屋上防水	1979.4年 1.00点
		外壁	1979.4年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2005.0年 2.00点
		受変電設備	1979.4年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.87GJ (41.13)	1.00点
供給	面積/人数	20.16m ² (74.44)	1.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (45.04)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	5件 (34.08)	1.00点
財務	コスト/人	245,424円 (45.92)	2.00点
財務	コスト/面積	5,289円 (47.53)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	389	百万円	維持管理費 B(※2)	191	百万円
	使用年数 A(※1)	36.6	年	小計	580	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	187	百万円	維持管理費 (※3)	52	百万円
	大規模改修費	441	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	680	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	187	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	922	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,490	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H17に空調改修(冷温水発生機等取替、パッケージエアコン増設。約2400万円) H21に分館耐震補強。約1億200万円。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907006011001	施設名称	下田警察署松崎分庁舎		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	下田警察署		
	用途	警察施設		設置年	1967	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	1,892.80 m ²	延床面積	655.10 m ²		
	土地台帳価格	83,765 千円	建物台帳価格	6,647 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	30,978 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆急下田駅から バス60分				

◆ 第1段階 A1 品質 1.30点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	49.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2001.0年	2.00点
		外壁 2001.0年	2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1988.0年	1.00点
		受変電設備 1967.0年	1.00点
品質	津波性能	1.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.89GJ (40.38)	1.00点
供給	面積/人数	7.55m ² (49.13)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (45.04)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	5件 (34.08)	1.00点
財務	コスト/人	8,789円 (41.60)	3.00点
財務	コスト/面積	389円 (40.52)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	22	百万円	維持管理費 B(※2)	12	百万円
	使用年数 A(※1)	49.0	年	小計	34	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	38	百万円	維持管理費 (※3)	3	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	247	百万円
	解体費	16	百万円	小計	303	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	38	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	186	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	300	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	有(下田警察署松崎分庁舎整備事業)
現在の利用状況	警察署分庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	静岡県第4次地震被害想定津波浸水域内にあることから、移転・建替えする。現庁舎は移転・売却となる。
上を裏付ける根拠(ある場合)	下田警察署松崎分庁舎整備事業で、平成28～29年度新庁舎建設、平成29年8月完成予定。(平成29年度に現庁舎は閉庁予定)

□総合評価



施設面: **売却**

運用面: **移転**

補足

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907009011001	施設名称	大仁警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	大仁警察署		
	用途	警察施設		設置年	1976	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	4,958.21 m ²	延床面積	1,200.74 m ²		
	土地台帳価格	359,321 千円	建物台帳価格	76,043 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	52,896 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆箱根鉄道大仁駅から 徒歩7分				

◆第1段階 A2 品質 1.94点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	40.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.0年 2.00点
		外壁	1989.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	-
		受変電設備	-
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.75GJ (15.49)	1.00点
供給	面積/人数	5.40m ² (44.81)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (60.26)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (48.42)	2.00点
財務	コスト/人	103,702円 (43.34)	3.00点
財務	コスト/面積	6,650円 (49.48)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	152	百万円	維持管理費 B(※2)	84	百万円
	使用年数 A(※1)	40.0	年	小計	236	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	69	百万円	維持管理費 (※3)	21	百万円
	大規模改修費	272	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	362	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	69	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	341	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	551	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	平成18年度 耐震工事 67,730千円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

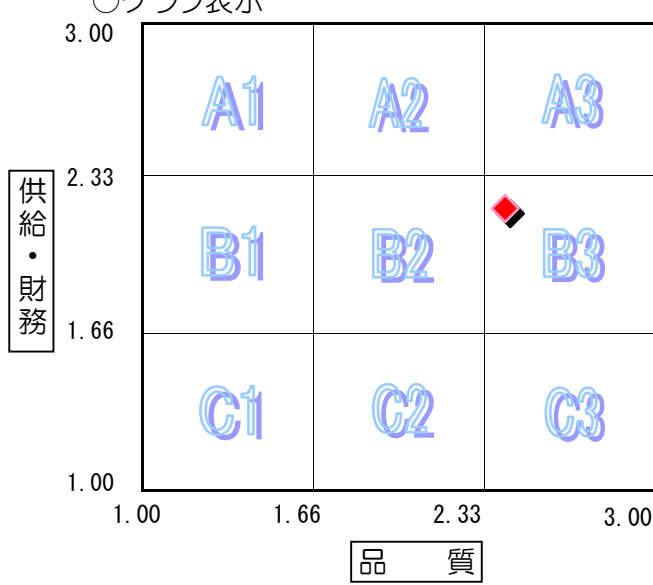
基本情報	施設番号	907012011020	施設名称	三島警察署		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	三島警察署			
	用途	警察施設		設置年	1998	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	7,755.42 m ²	延床面積	4,313.19 m ²			
	土地台帳価格	696,979 千円	建物台帳価格	1,023,896 千円			
	用途地域	住居地域	路線価	62,909 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆箱根鉄道 三島二日町駅から徒歩7分					

◆第1段階 **B3** 品質 2.51点 供給・財務 2.20点

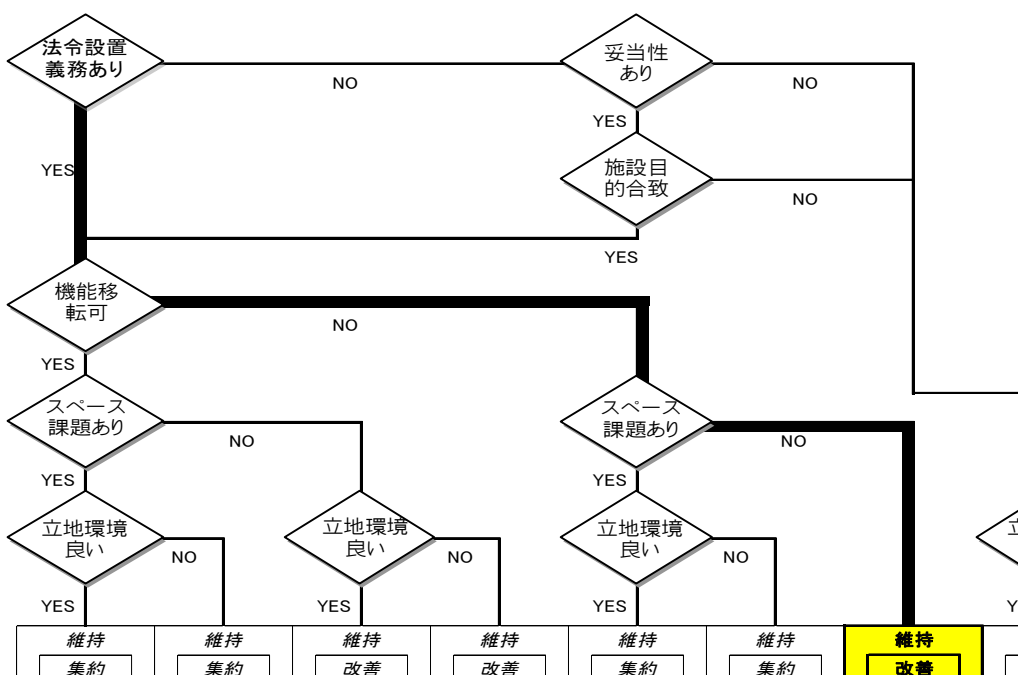
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	18.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1998.0年	2.00点
品質		外壁 2011.0年	2.81点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1998.0年	1.63点
品質		受変電設備 1998.0年	1.63点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.16GJ (32.76)	1.00点
供給	面積/人数	6.18m ² (46.37)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (58.23)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	7件 (44.37)	1.00点
財務	コスト/人	214,911円 (45.36)	2.00点
財務	コスト/面積	6,826円 (49.74)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,415	百万円	維持管理費 B(※2)	114	百万円
	使用年数 A(※1)	18.0	年	小計	1,529	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	249	百万円	維持管理費 (※3)	63	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	312	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	249	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,224	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,978	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	平成26年度 庁舎外壁改修工事実施(沼津土木事務所執行工事)約2,300万円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907015011001	施設名称	伊東警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	伊東警察署		
	用途	警察施設		設置年	1991	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	2,074.18 m ²		
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	385,584 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR伊東駅から 徒歩20分 バス10分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.85点 供給・財務 2.60点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	25.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1991.0年	1.00点
		外壁 2006.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1991.0年	1.00点
		受変電設備 1991.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.27GJ (29.39)	1.00点
供給	面積/人数	6.78m ² (47.57)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (48.09)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	7件 (47.34)	2.00点
財務	コスト/人	46,166円 (42.29)	3.00点
財務	コスト/面積	1,781円 (42.51)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	650	百万円	維持管理費 B(※2)	75	百万円
	使用年数 A(※1)	25.0	年	小計	725	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	120	百万円	維持管理費 (※3)	30	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	150	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	120	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	589	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	951	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H18年度に外壁を改修。約1,800万円 H22年度に北側外壁打継部の防水改修。約600万円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

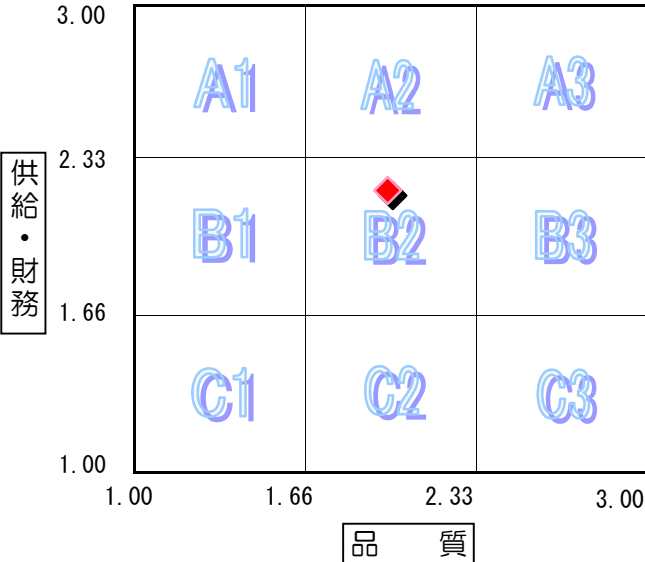
基本情報	施設番号	907018011101	施設名称	熱海警察署本署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	熱海警察署		
	用途	警察施設		設置年	1987	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	2,795.86 m ²	延床面積	2,950.25 m ²		
	土地台帳価格	265,419 千円	建物台帳価格	427,506 千円		
	用途地域	近隣商業地域	路線価	66,453 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR来宮駅から徒歩1分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.05点 供給・財務 2.20点

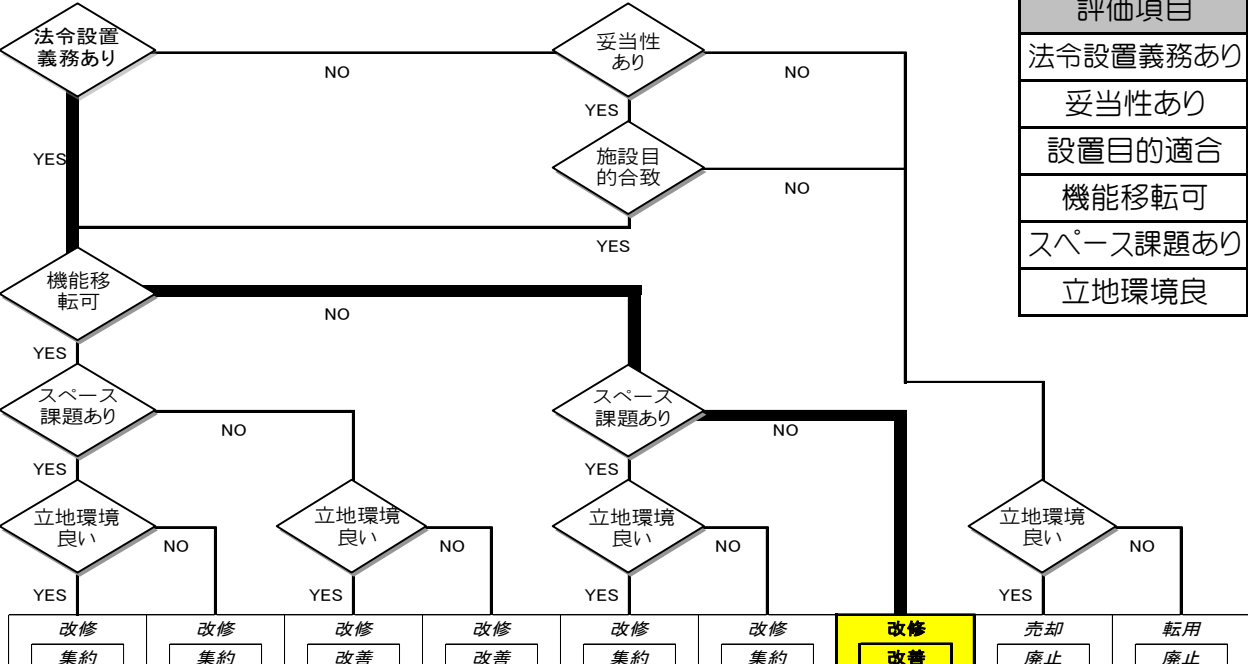
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	29.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1987.0年	1.00点
		外壁 2015.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2013.0年	3.00点
		受変電設備 1987.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.95GJ (38.92)	1.00点
供給	面積/人数	8.32m ² (50.68)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (60.41)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	6件 (39.42)	1.00点
財務	コスト/人	295,257円 (46.83)	2.00点
財務	コスト/面積	7,406円 (50.57)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	637	百万円	維持管理費 B(※2)	132	百万円
	使用年数 A(※1)	29.0	年	小計	769	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	170	百万円	維持管理費 (※3)	46	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	216	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	170	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	837	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,353	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H27 外壁改修工事 2,592万円 屋外階段コンクリ壁・仕上げモルタルにクラック有
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

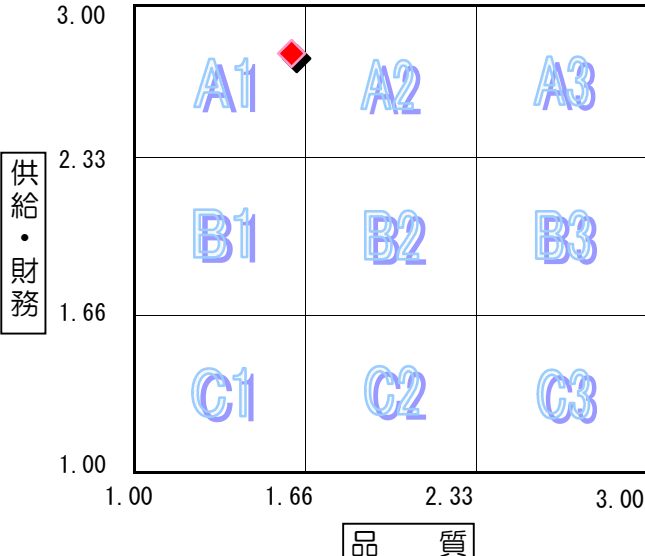
基本情報	施設番号	907021011036	施設名称	沼津警察署本署		外部	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	沼津警察署			
	用途	警察施設		設置年	1985		
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	5,273.55 m ²		延床面積	4,735.06 m ²		内部
	土地台帳価格	642,311 千円		建物台帳価格	601,482 千円		
	用途地域	近隣商業地域		路線価	85,259 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR沼津駅から バス10分					

◆ 第1段階 **A1** 品質 1.65点 供給・財務 2.80点

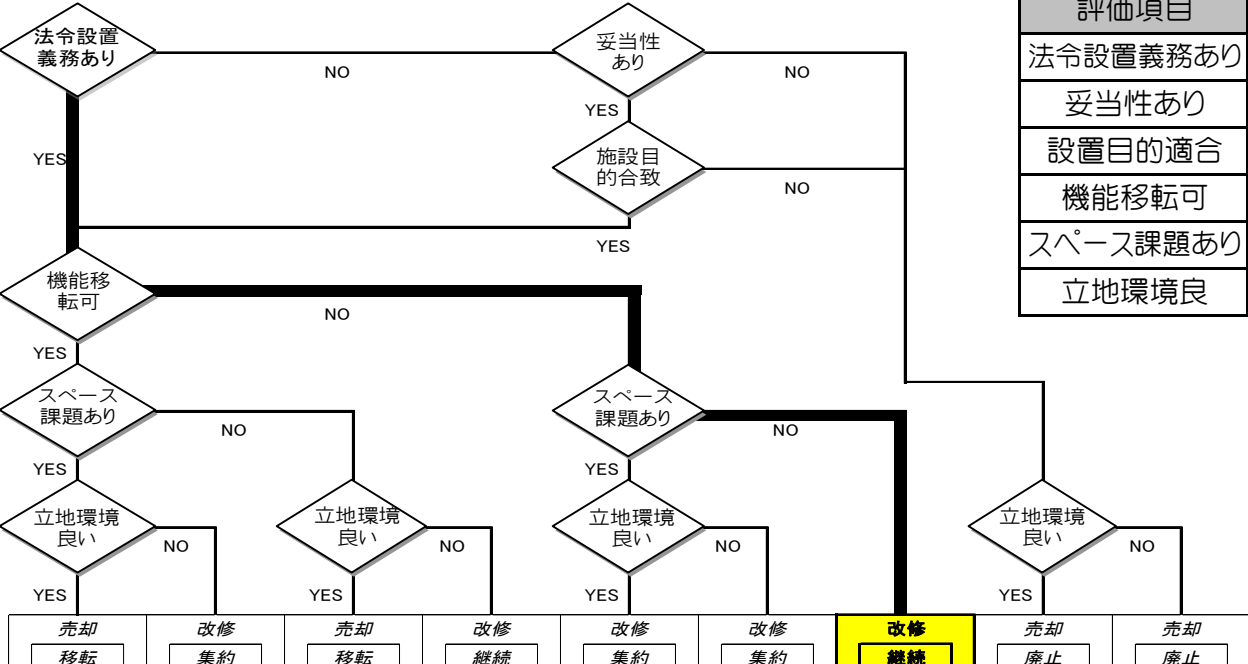
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	31.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1985.0年 1.00点
		外壁	1985.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1985.0年 1.00点
		受変電設備	1985.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.36GJ (27.02)	1.00点
供給	面積/人数	6.83m ² (47.69)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	9件 (67.37)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	10件 (58.80)	3.00点
財務	コスト/人	110,993円 (43.47)	3.00点
財務	コスト/面積	5,532円 (47.88)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	956	百万円	維持管理費 B(※2)	242	百万円
	使用年数 A(※1)	31.0	年	小計	1,198	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	273	百万円	維持管理費 (※3)	78	百万円
	大規模改修費	1,071	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,422	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	273	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,344	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,172	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	23年度に24時間系統冷温水発生機及び冷却塔の更新(約1,700万円) 27年度に非常用燃料タンクを増設(約2,300万円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907021011047	施設名称	沼津警察署三園分庁舎		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	沼津警察署		
	用途	警察施設		設置年	1978	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部
	敷地面積	640.33 m ²		延床面積	658.66 m ²	
	土地台帳価格	77,388 千円		建物台帳価格	70,041 千円	
	用途地域	近隣商業地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: JR沼津駅から バス15分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.05点 供給・財務 3.00点

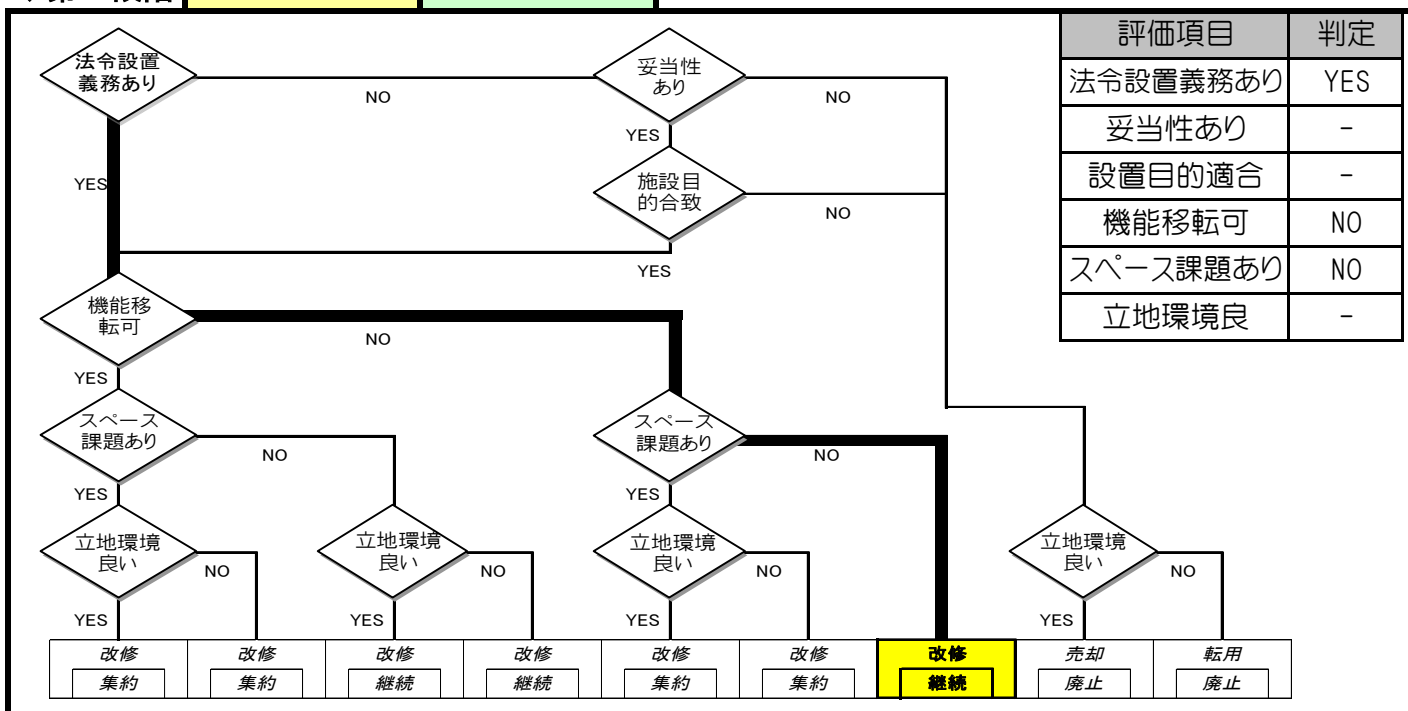
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1978.0年 1.00点
		外壁	1999.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1978.0年 1.00点
		受変電設備	2006.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.92)	3.00点
供給	面積/人数	7.31m ² (48.64)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	25,736円 (41.91)	3.00点
財務	コスト/面積	1,250円 (41.75)	3.00点

○グラフ表示

品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	130	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	38.0	年	小計	130	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	38	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	149	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	187	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	38	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	187	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	302	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察活動の拠点として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価


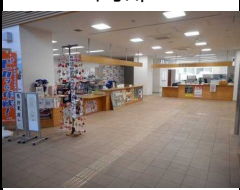
施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907023011104	施設名称	裾野警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	裾野警察署		
	用途	警察施設		設置年	2013	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	4,699.99 m ²	延床面積	3,427.74 m ²		内部 
	土地台帳価格	432,399 千円	建物台帳価格	902,558 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR御殿場線裾野駅から バス3分				

◆ 第1段階 A3 品質 3.00点 供給・財務 2.50点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	3.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2013.0年 3.00点
		外壁	2013.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2013.0年 3.00点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (48.79)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (47.84)	2.00点
財務	コスト/人	78,077円 (42.87)	3.00点
財務	コスト/面積	1,754円 (42.47)	3.00点

○グラフ表示

品質

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	921	百万円	維持管理費 B(※2)	18	百万円
	使用年数 A(※1)	3.0	年	小計	939	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	198	百万円	維持管理費 (※3)	60	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	258	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	198	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	973	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,572	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	劣化及び大規模な修繕改修履歴なし。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設

施設アセスメントシート

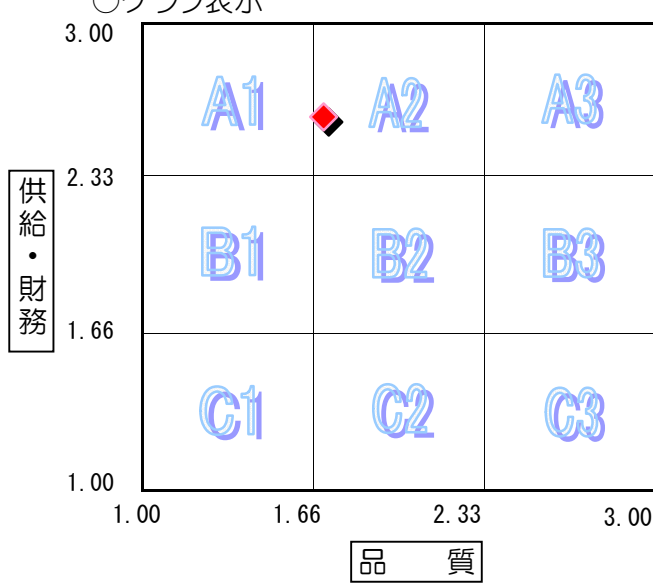
基本情報	施設番号	907024011001	施設名称	御殿場警察署庁舎		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	御殿場警察署		
	用途	警察施設		設置年	1978	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	4,099.99 m ²	延床面積	1,769.67 m ²		内部
	土地台帳価格	241,366 千円	建物台帳価格	139,125 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	41,209 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR御殿場駅から 徒歩30分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.75点 供給・財務 2.60点

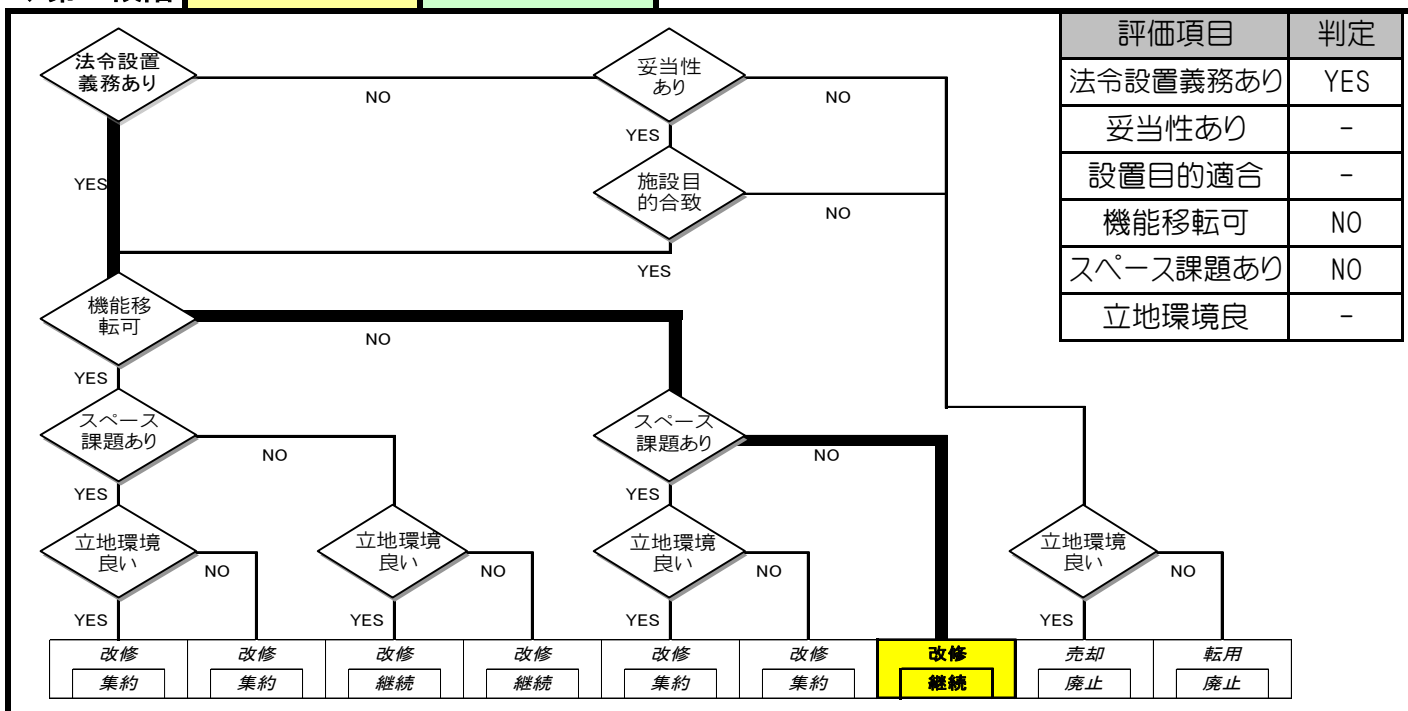
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1978.0年	1.00点
		外壁 1998.0年	2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1995.0年	1.00点
		受変電設備 1978.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.30GJ (28.70)	1.00点
供給	面積/人数	6.55m ² (47.11)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (58.25)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (47.86)	2.00点
財務	コスト/人	104,017円 (43.34)	3.00点
財務	コスト/面積	5,466円 (47.79)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	237	百万円	維持管理費 B(※2)	129	百万円
	使用年数 A(※1)	38.0	年	小計	366	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	102	百万円	維持管理費 (※3)	34	百万円
	大規模改修費	400	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	536	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	102	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	502	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	812	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H22に2階便所を改修し保護室を設置。約640万円。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

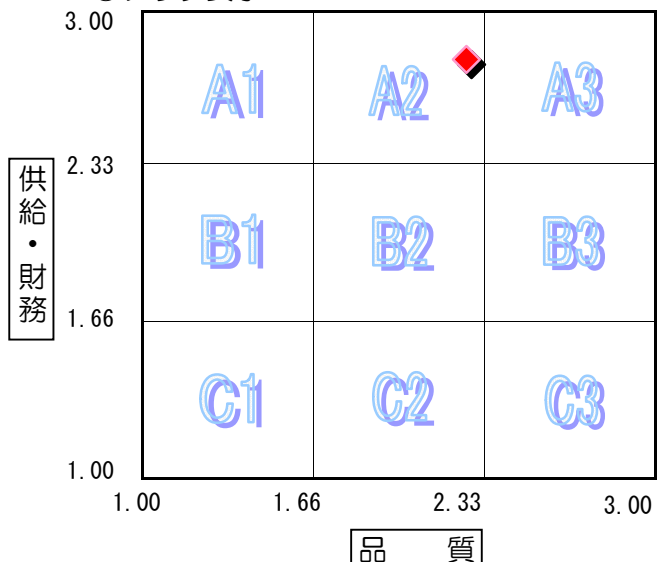
基本情報	施設番号	907027011101	施設名称	富士警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	富士警察署		
	用途	警察施設		設置年	1985	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	6,311.14 m ²	延床面積	5,387.65 m ²		
	土地台帳価格	473,336 千円	建物台帳価格	863,561 千円		
	用途地域	工業地域	路線価	52,500 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: ジャココ前から 徒歩10分				

◆ 第1段階 A3 品質 2.35点 供給・財務 2.80点

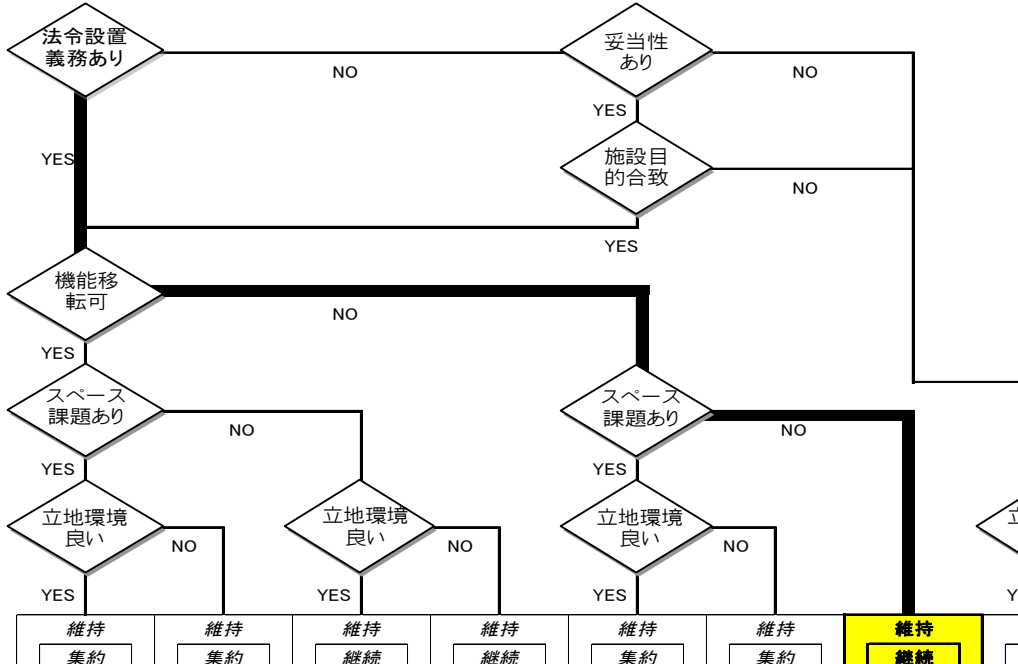
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	25.5年	2.27点
品質	建築劣化度	屋上防水 1990.5年	1.27点
		外壁 2015.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2007.9年	2.73点
		受変電設備 2012.3年	2.73点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.27GJ (29.35)	1.00点
供給	面積/人数	5.71m ² (45.43)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (57.93)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	10件 (59.74)	3.00点
財務	コスト/人	80,819円 (42.92)	3.00点
財務	コスト/面積	4,305円 (46.13)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,222	百万円	維持管理費 B(※2)	115	百万円
	使用年数 A(※1)	25.5	年	小計	1,337	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	311	百万円	維持管理費 (※3)	45	百万円
	大規模改修費	885	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,240	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	311	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,529	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,471	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	天井、壁に亀裂・爆裂等があらゆるところに見られる／水栓からの水漏れ及び排水詰まりがあらゆるところに見られる／空調機吸収式温水発生機更新工事 2,415万円／留置場接見室増室改修工事 655万円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907030011001	施設名称	富士宮警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	富士宮警察署		
	用途	警察施設		設置年	1995	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	6,615.18 m ²	延床面積	2,867.53 m ²		内部 
	土地台帳価格	386,591 千円	建物台帳価格	697,784 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	40,908 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR富士宮駅から バス10分				

◆第1段階 **B1** 品質 1.65点 供給・財務 2.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	21.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.0年 1.00点
		外壁	1995.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1995.0年 1.00点
		受変電設備	1995.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	2.15GJ (3.89)	1.00点
供給	面積/人数	12.18m ² (58.42)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (50.84)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (53.27)	2.00点
財務	コスト/人	177,676円 (44.68)	3.00点
財務	コスト/面積	6,196円 (48.83)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,079	百万円	維持管理費 B(※2)	72	百万円
	使用年数 A(※1)	21.0	年	小計	1,151	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	165	百万円	維持管理費 (※3)	34	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	200	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	165	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	814	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,315	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	平成27年に外壁を補修(20年経過)。約1,000万円
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

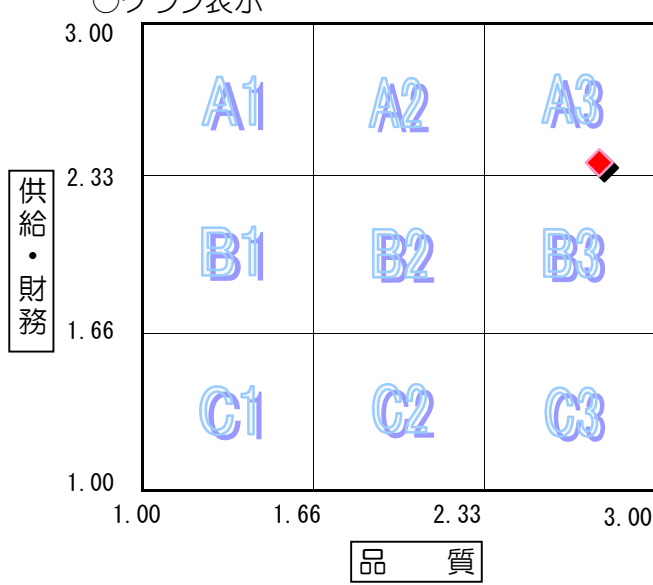
基本情報	施設番号	907036011001	施設名称	清水警察署	外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	清水警察署	
	用途	警察施設	設置年	2008	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。			
	敷地面積	8,425.01 m ²	延床面積	5,246.37 m ²	内部
	土地台帳価格	707,641 千円	建物台帳価格	1,287,055 千円	
	用途地域	住居地域	路線価	58,795 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅から バス8分			

◆第1段階 A3 品質 2.90点 供給・財務 2.40点

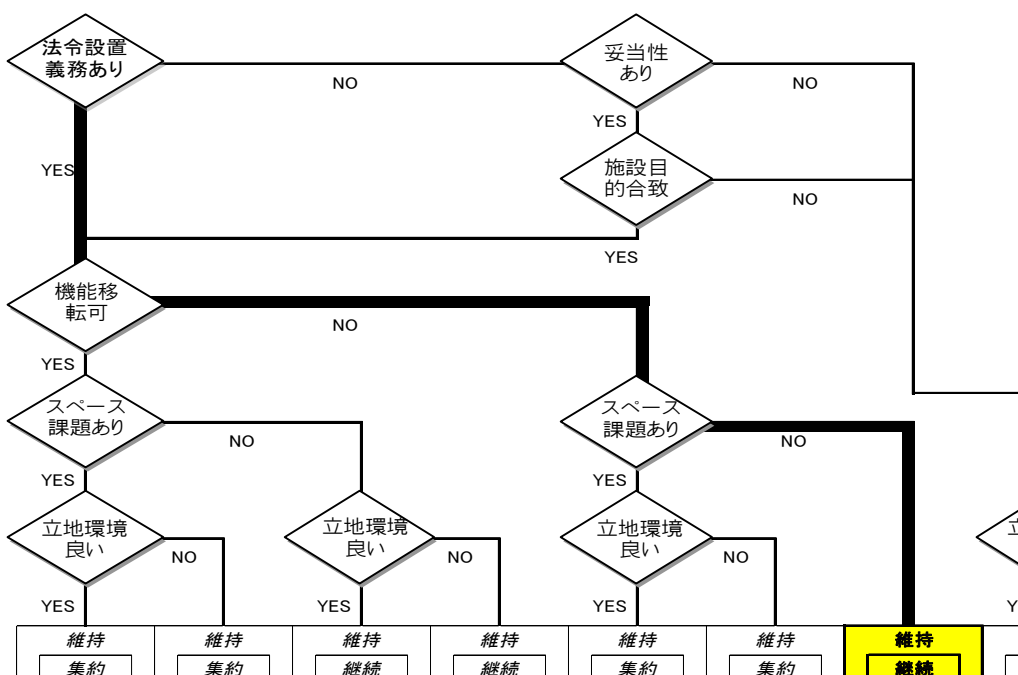
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	8.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2008.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.0年 3.00点
		受変電設備	2008.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.37GJ (26.46)	1.00点
供給	面積/人数	7.22m ² (48.46)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (47.84)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (49.65)	2.00点
財務	コスト/人	172,048円 (44.58)	3.00点
財務	コスト/面積	5,903円 (48.41)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,463	百万円	維持管理費 B(※2)	97	百万円
	使用年数 A(※1)	8.0	年	小計	1,560	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	302	百万円	維持管理費 (※3)	122	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	424	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	302	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,489	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,406	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907036011027	施設名称	清水警察署蒲原分庁舎	外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	清水警察署	
	用途	警察施設	設置年	1982	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。			
	敷地面積	2,964.31 m ²	延床面積	1,316.47 m ²	内部
	土地台帳価格	140,864 千円	建物台帳価格	132,313 千円	
	用途地域	準工業地域	路線価	33,264 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:蒲原駅から 徒歩20分			

◆第1段階 C2 品質 1.70点 供給・財務 1.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	34.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1982.0年 1.00点
		外壁	1982.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1982.0年 1.00点
		受変電設備	1982.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.55GJ (50.40)	2.00点
供給	面積/人数	31.50m ² (97.22)	1.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	988,401円 (59.47)	1.00点
財務	コスト/面積	6,006円 (48.56)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	247	百万円	維持管理費 B(※2)	62	百万円
	使用年数 A(※1)	34.0	年	小計	309	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	76	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	298	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	392	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	76	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	374	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	604	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署分庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H22に受変電設備改修工事を実施(28年経過):約700万円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

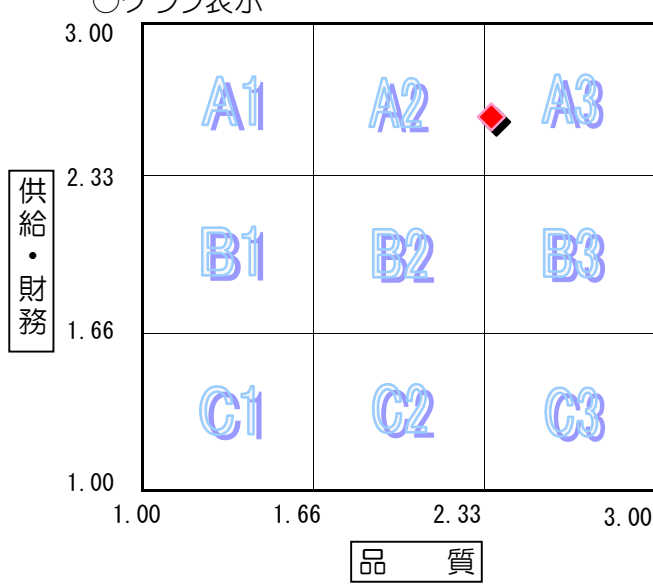
基本情報	施設番号	907039011001	施設名称	静岡中央警察署本署		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	静岡中央警察署		
	用途	警察施設		設置年	1981	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	1,432.96 m ²	延床面積	10,432.42 m ²		内部
	土地台帳価格	881,283 千円	建物台帳価格	1,148,055 千円		
	用途地域	商業地域	路線価	430,506 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から 徒歩10分 タクシー2分				

◆第1段階 A3 品質 2.45点 供給・財務 2.60点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

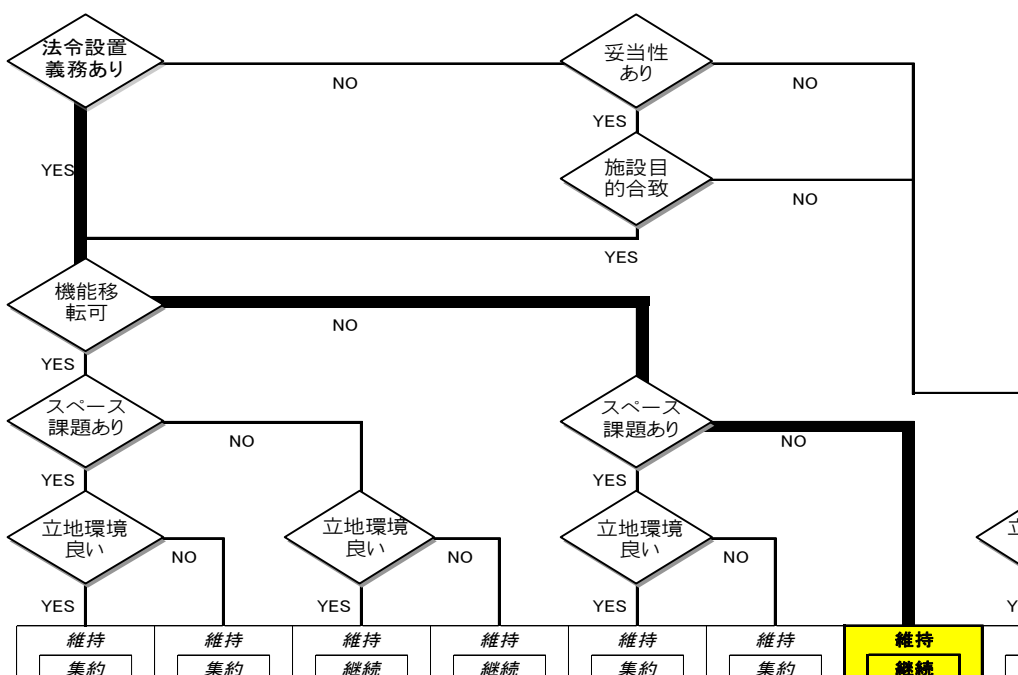
品質	建築後経過年数	35.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2015.0年 3.00点
		外壁	2015.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2013.0年 3.00点
		受変電設備	2011.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.14GJ (33.20)	1.00点
供給	面積/人数	6.28m ² (46.58)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (61.91)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (51.81)	2.00点
財務	コスト/人	186,519円 (44.85)	3.00点
財務	コスト/面積	9,601円 (53.71)	2.00点

○グラフ表示



品質: 1.00, 1.66, 2.33, 3.00
供給・財務: 1.00, 1.66, 2.33, 3.00

◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,429	百万円	維持管理費 B(※2)	862	百万円
	使用年数 A(※1)	35.0	年	小計	3,291	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	601	百万円	維持管理費 (※3)	246	百万円
	大規模改修費	2,360	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	3,207	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	601	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,961	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,785	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	高架水槽の腐食、配水管内部の劣化、空調関係各部の劣化・故障、排風機の故障 H20年度に昇降機(1号機)を改修(約1,800万円)、H22年度に中央監視設備を更新(約2,400万円)、H23年度に高圧受変電設備を改修(約5,800万円)、H24年度に冷温水発生器(2号機)を更新(3,200万円)、H25年度に冷温水発生器(1号機)を更新(2,900万円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

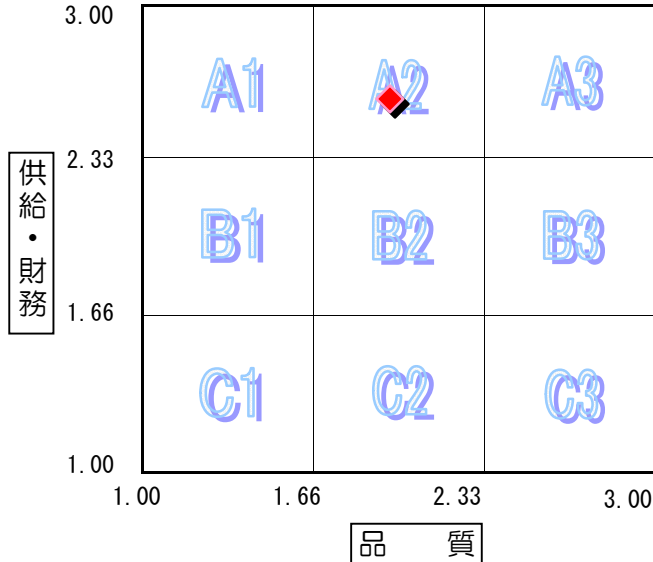
基本情報	施設番号	907042011001	施設名称	静岡南警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	静岡南警察署		
	用途	警察施設		設置年	1982	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による				内部 
	敷地面積	4,582.78 m ²	延床面積	3,187.97 m ²		
	土地台帳価格	582,373 千円	建物台帳価格	339,848 千円		
	用途地域	工業地域	路線価	98,478 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から バス15分 徒歩3分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.03点 供給・財務 2.60点

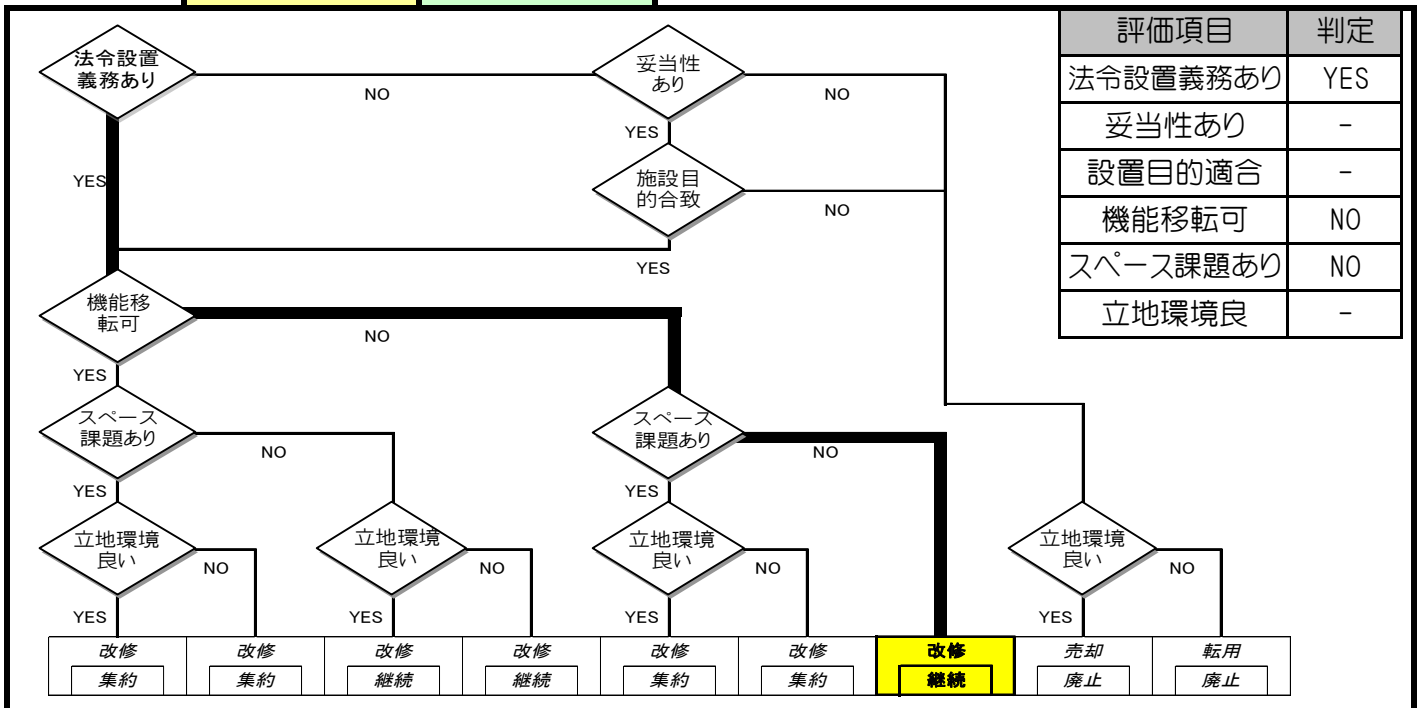
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	32.1年	2.08点
品質	建築劣化度	屋上防水 1983.9年	1.16点
		外壁 2002.3年	2.08点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2013.4年	3.00点
		受変電設備 1983.9年	1.16点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.18GJ (32.23)	1.00点
供給	面積/人数	5.46m ² (44.92)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	9件 (68.27)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	10件 (59.59)	3.00点
財務	コスト/人	130,963円 (43.83)	3.00点
財務	コスト/面積	7,477円 (50.67)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	620	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	32.1	年	小計	620	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	184	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	663	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	847	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	184	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	905	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,462	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	○劣化状況 なし ○修繕・改修 自動火災報知機設備更新工事(H26、約550万円) / 吸収式冷温水発生機他更新工事(H26、約3,000万円) / 非常用発電設備更新工事(H27、約3,000万円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

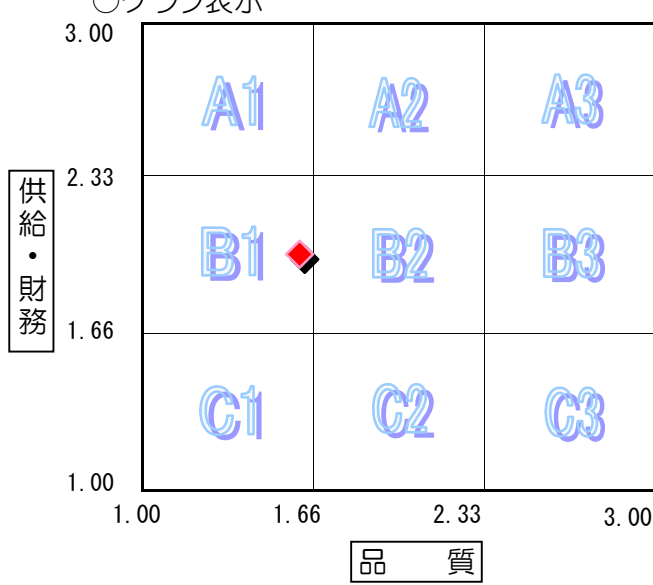
基本情報	施設番号	907045011001	施設名称	藤枝警察署		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	藤枝警察署		
	用途	警察施設		設置年	1994	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	6,577.94 m ²	延床面積	2,198.84 m ²		内部
	土地台帳価格	356,562 千円	建物台帳価格	574,416 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	37,944 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:藤枝駅から バス20分				

◆第1段階 **B1** 品質 1.65点 供給・財務 2.00点

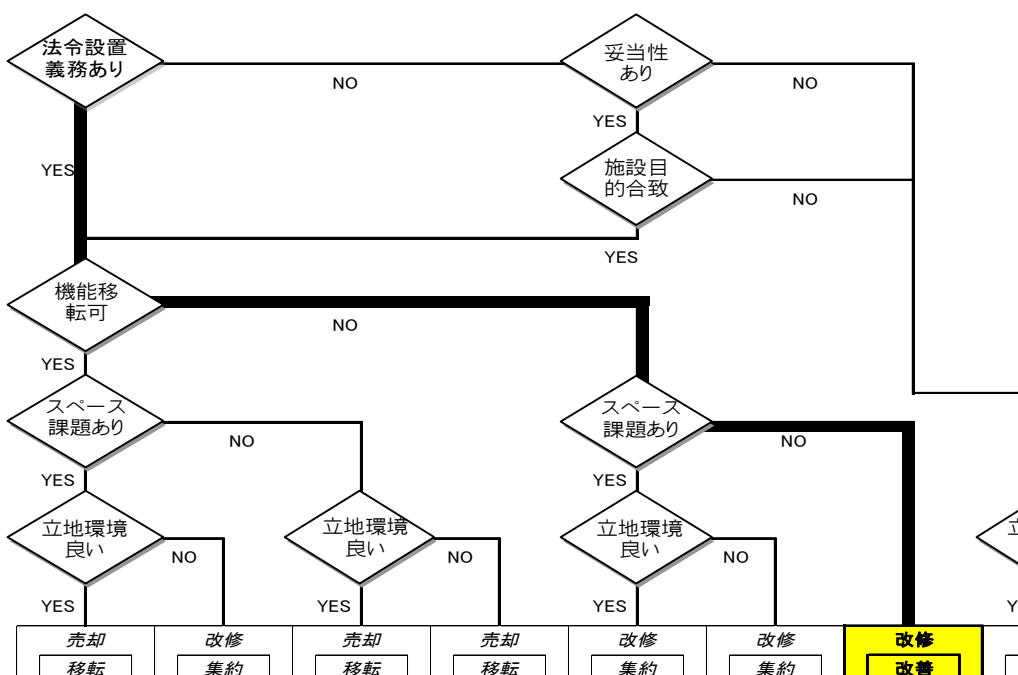
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	22.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1994.0年 1.00点
		外壁	1994.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1994.0年 1.00点
		受変電設備	1994.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.55GJ (21.30)	1.00点
供給	面積/人数	6.75m ² (47.52)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (40.82)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (53.55)	2.00点
財務	コスト/人	236,463円 (45.76)	2.00点
財務	コスト/面積	10,324円 (54.74)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	926	百万円	維持管理費 B(※2)	83	百万円
	使用年数 A(※1)	22.0	年	小計	1,009	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	127	百万円	維持管理費 (※3)	38	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	165	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	127	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	624	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,008	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	これまでのところ顕著な劣化状況は認められない。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907048011001	施設名称	焼津警察署		外部	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	焼津警察署			
	用途	警察施設		設置年	1983		
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	5,468.24 m ²	延床面積	2,050.62 m ²			内部
	土地台帳価格	302,339 千円	建物台帳価格	248,146 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	38,703 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: JR焼津駅から バス15分					

◆ 第1段階 A2 品質 1.95点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.0年 2.00点
		外壁	1983.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2012.0年 3.00点
		受変電設備	1983.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.36GJ (26.78)	1.00点
供給	面積/人数	4.72m ² (43.45)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	7件 (56.75)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (53.52)	2.00点
財務	コスト/人	146,493円 (44.12)	3.00点
財務	コスト/面積	8,287円 (51.83)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	434	百万円	維持管理費 B(※2)	114	百万円
	使用年数 A(※1)	33.0	年	小計	548	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	118	百万円	維持管理費 (※3)	34	百万円
	大規模改修費	464	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	616	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	118	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	582	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	940	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	①車庫棟前マホール、車庫棟西側階段下に数センチの沈下あり(H23年度定期点検結果) ②冷温水発生機1機更新(H24年度)
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

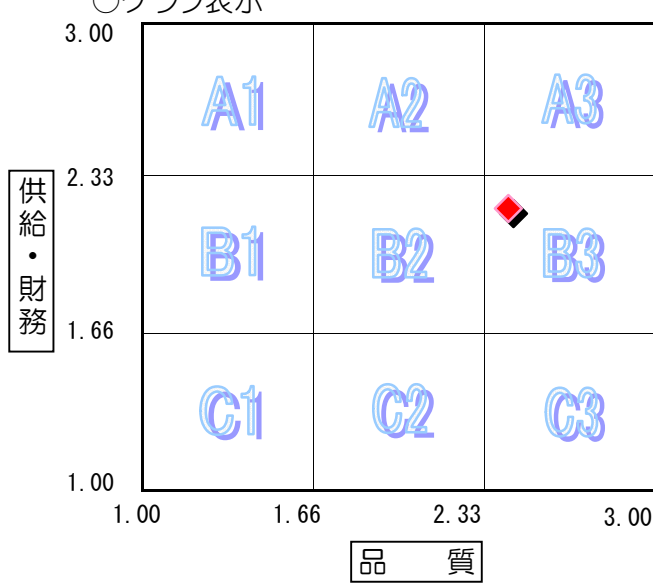
基本情報	施設番号	907051011029	施設名称	島田警察署		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	島田警察署			
	用途	警察施設		設置年	2002	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	8,426.98 m ²	延床面積	3,493.50 m ²			
	土地台帳価格	413,933 千円	建物台帳価格	847,643 千円			
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: JR島田駅から バス10分					

◆ 第1段階 B3 品質 2.52点 供給・財務 2.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

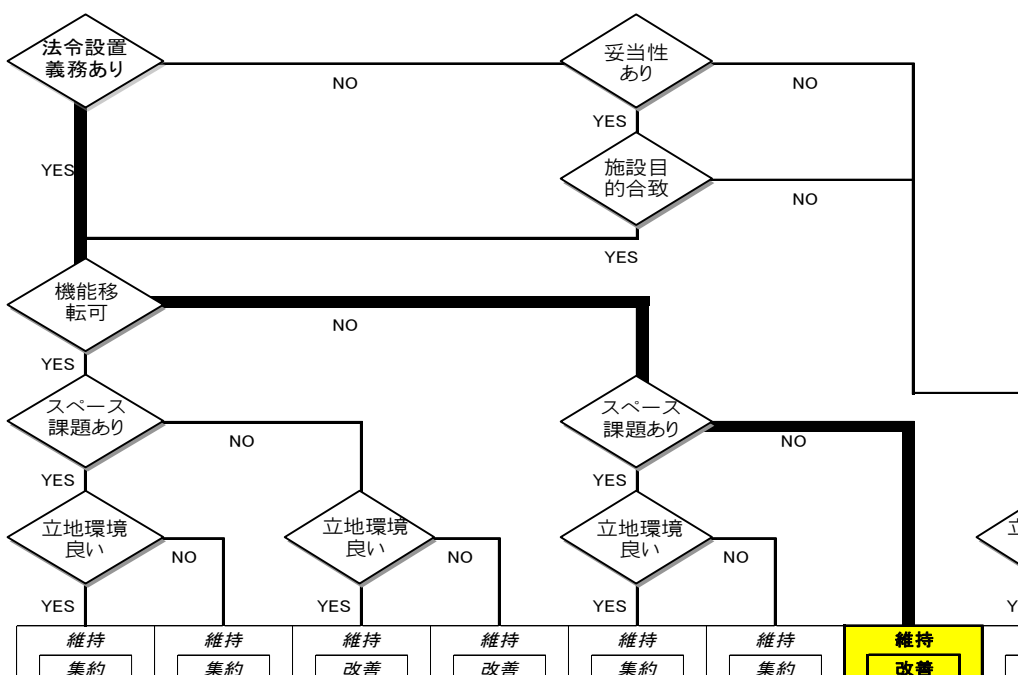
品質	建築後経過年数	14.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.0年 2.00点
		外壁	2004.7年 2.20点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2002.0年 2.00点
		受変電設備	2002.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.93GJ (39.27)	1.00点
供給	面積/人数	7.74m ² (49.51)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	4件 (36.79)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	7件 (45.53)	2.00点
財務	コスト/人	165,994円 (44.47)	3.00点
財務	コスト/面積	4,039円 (45.74)	2.00点

○グラフ表示



品質: 1.00, 1.66, 2.33, 3.00
供給・財務: 1.00, 1.66, 2.33, 3.00

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	996	百万円	維持管理費 B(※2)	82	百万円
	使用年数 A(※1)	14.0	年	小計	1,078	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	201	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	260	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	201	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	992	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,602	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H27に付属棟の外壁改修工事を実施(約5,689千円)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907054011101	施設名称	牧之原警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	牧之原警察署		
	用途	警察施設		設置年	1993	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	4,520.37 m ²	延床面積	1,680.48 m ²		
	土地台帳価格	155,158 千円	建物台帳価格	361,504 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	24,027 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 藤枝駅から バス50分				

◆ 第1段階 A1 品質 1.65点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	23.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1993.0年	1.00点
		外壁 1993.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1993.0年	1.00点
		受変電設備 1993.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.58GJ (20.61)	1.00点
供給	面積/人数	6.13m ² (46.27)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (45.32)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (48.31)	2.00点
財務	コスト/人	155,903円 (44.29)	3.00点
財務	コスト/面積	6,401円 (49.13)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	594	百万円	維持管理費 B(※2)	79	百万円
	使用年数 A(※1)	23.0	年	小計	673	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	97	百万円	維持管理費 (※3)	34	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	131	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	97	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	477	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	771	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H22に留置場空調機を更新(18年経過)。約600万円。 H23に交通課・当直室・ホール他空調機を更新。約900万円。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価


施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

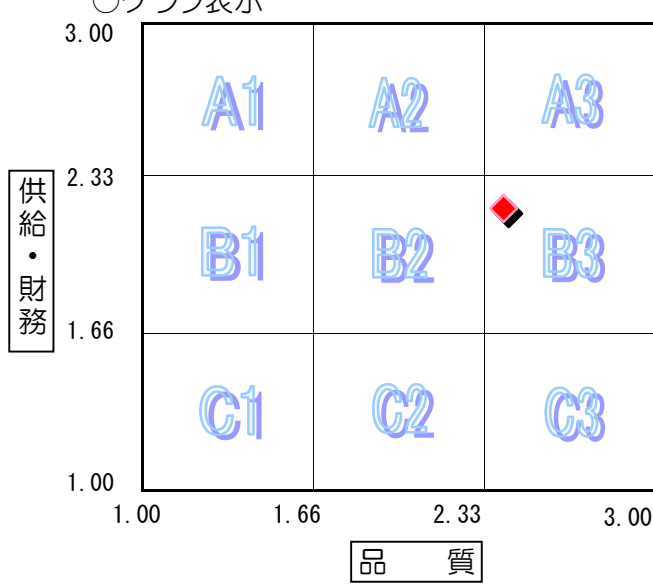
基本情報	施設番号	907057011011	施設名称	菊川警察署		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	菊川警察署		
	用途	警察施設		設置年	2004	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	4,866.68 m ²	延床面積	3,103.18 m ²		内部
	土地台帳価格	157,138 千円	建物台帳価格	664,033 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	22,602 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR菊川駅から バス15分 徒歩5分				

◆第1段階 **B3** 品質 2.50点 供給・財務 2.20点

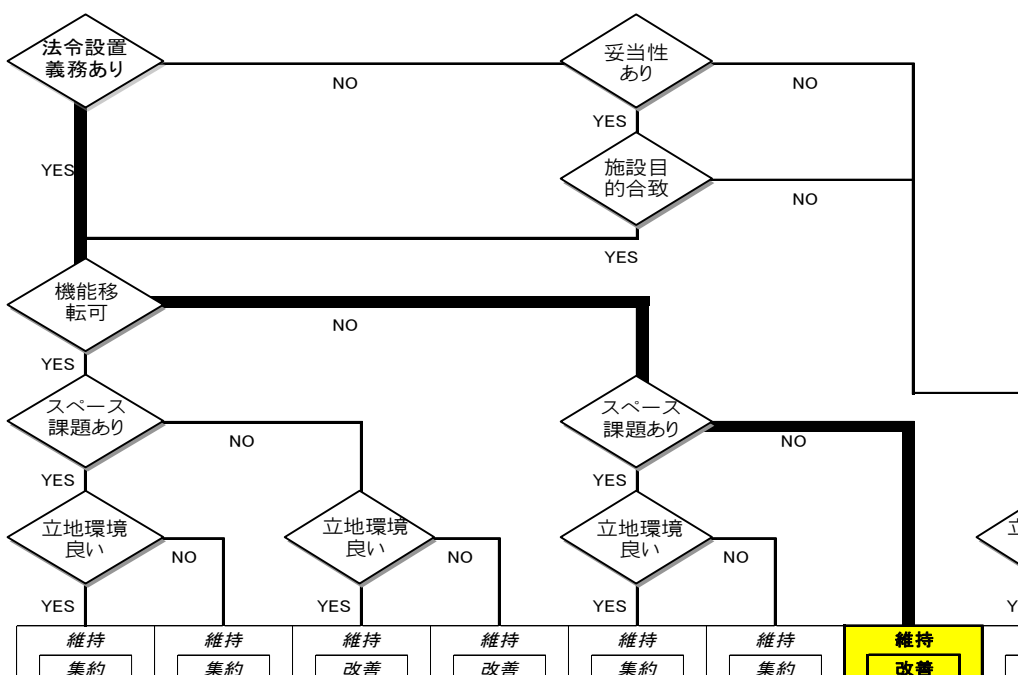
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	12.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.0年 2.00点
		外壁	2004.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.0年 2.00点
		受変電設備	2004.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.95GJ (38.76)	1.00点
供給	面積/人数	7.60m ² (49.23)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (39.63)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	7件 (45.10)	2.00点
財務	コスト/人	163,120円 (44.42)	3.00点
財務	コスト/面積	3,837円 (45.46)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	755	百万円	維持管理費 B(※2)	50	百万円
	使用年数 A(※1)	12.0	年	小計	805	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	179	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	221	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	179	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	881	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,423	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	付属棟:H27年度の外壁全面打診調査で外壁タイルの浮き・シール材の劣化が若干見られた。大規模な改修の履歴はなし。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

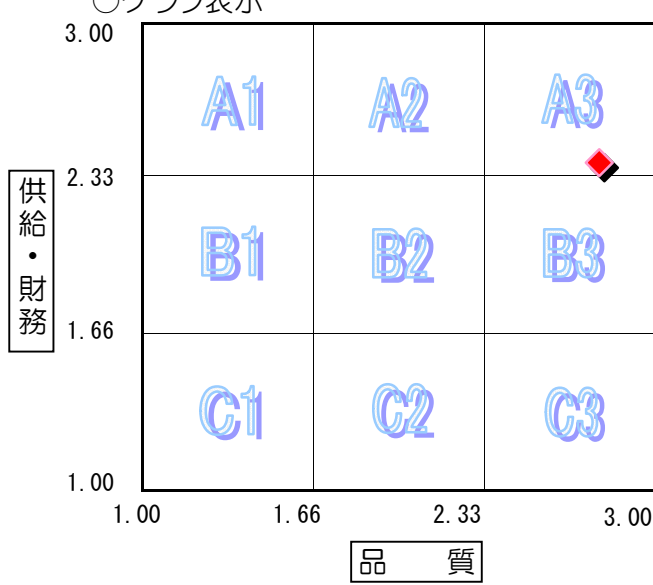
基本情報	施設番号	907060011021	施設名称	掛川警察署(新)		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	掛川警察署		
	用途	警察施設		設置年	2006	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	5,947.75 m ²	延床面積	4,009.28 m ²		内部
	土地台帳価格	260,206 千円	建物台帳価格	803,845 千円		
	用途地域	-	路線価	30,624 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から バス10分				

◆第1段階 **A3** 品質 2.90点 供給・財務 2.40点

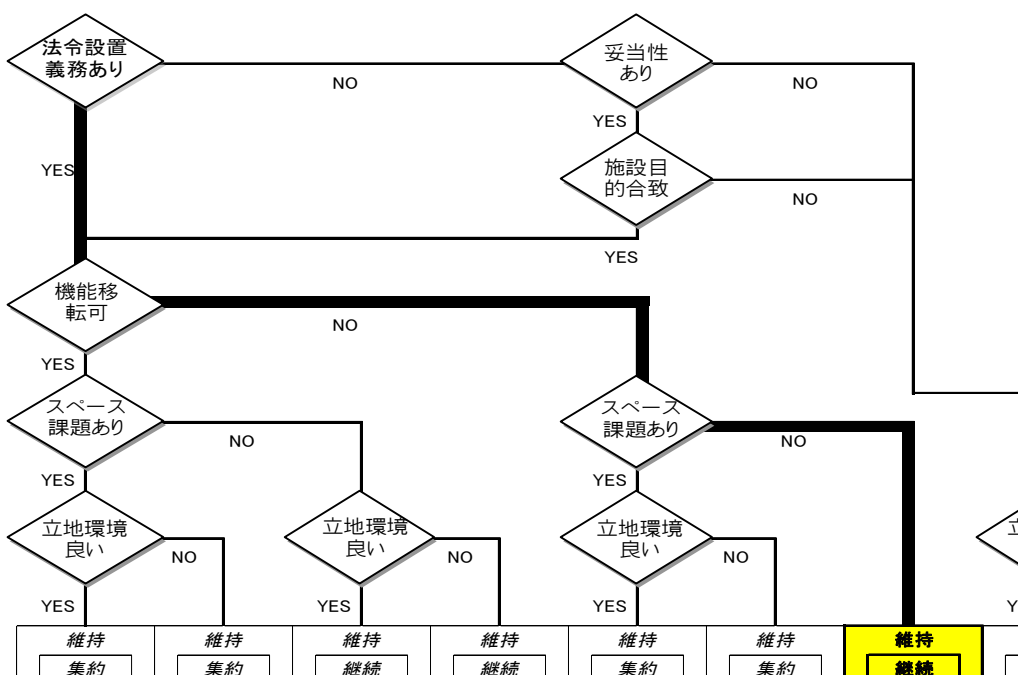
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	10.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2006.0年 3.00点
		外壁	2006.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.0年 3.00点
		受変電設備	2006.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.34GJ (27.39)	1.00点
供給	面積/人数	6.61m ² (47.23)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (45.75)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (50.70)	2.00点
財務	コスト/人	169,643円 (44.54)	3.00点
財務	コスト/面積	4,254円 (46.05)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	904	百万円	維持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	10.0	年	小計	974	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	231	百万円	維持管理費 (※3)	70	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	301	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	231	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,138	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,839	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907066011001	施設名称	磐田警察署		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	磐田警察署			
	用途	警察施設		設置年	2000	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	8,772.59 m ²	延床面積	5,193.17 m ²			
	土地台帳価格	458,518 千円	建物台帳価格	1,098,948 千円			
	用途地域	住居地域	路線価	37,474 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から バス10分 徒歩10分					

◆第1段階 A3 品質 2.40点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	20.7年	2.76点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.4年 1.89点
		外壁	2003.2年 2.13点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.9年 2.00点
		受変電設備	1999.9年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.95GJ (38.65)	1.00点
供給	面積/人数	7.58m ² (49.18)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	6件 (50.35)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (54.26)	2.00点
財務	コスト/人	143,958円 (44.07)	3.00点
財務	コスト/面積	4,491円 (46.39)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,504	百万円	維持管理費 B(※2)	210	百万円
	使用年数 A(※1)	20.7	年	小計	1,714	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	299	百万円	維持管理費 (※3)	102	百万円
	大規模改修費	280	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	681	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	299	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,474	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,382	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	平成17年度別館外壁改修工事、平成19年度車庫及び倉庫等外壁等塗装工事、平成27年度付属棟外壁改修及び屋上防水工事
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907069011001	施設名称	天竜警察署		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	天竜警察署			
	用途	警察施設		設置年	1977		
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					内部 
	敷地面積	2,301.76 m ²		延床面積	1,156.70 m ²		
	土地台帳価格	74,610 千円		建物台帳価格	81,814 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	22,690 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:天竜浜名湖鉄道 天竜二俣駅から 徒歩10分 タクシー3分					

◆第1段階 C1 品質 1.65点 供給・財務 1.60点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	39.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1977.0年	1.00点
		外壁 1987.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1977.0年	1.00点
		受変電設備 1977.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.21GJ (31.21)	1.00点
供給	面積/人数	6.91m ² (47.85)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	3件 (29.02)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	5件 (37.27)	1.00点
財務	コスト/人	344,366円 (47.73)	2.00点
財務	コスト/面積	13,993円 (60.00)	1.00点

○グラフ表示

品 質

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	155	百万円	維持管理費 B(※2)	90	百万円
	使用年数 A(※1)	39.0	年	小計	245	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	67	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	262	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	352	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	67	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	328	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	531	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907069011021	施設名称	天竜警察署水窪分庁舎		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	天竜警察署		
	用途	警察施設		設置年	1972	内部
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	1,921.07 m ²	延床面積	692.24 m ²		
	土地台帳価格	31,130 千円	建物台帳価格	25,140 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	11,343 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:飯田線 水窪駅から 徒歩10分 タクシー3分				



◆第1段階 **A1** 品質 1.25点 供給・財務 2.67点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1972.0年 1.00点
		外壁	1987.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1988.0年 1.00点
		受変電設備	1972.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.56GJ (50.17)	2.00点
供給	面積/人数	4.19m ² (42.37)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	-	-
供給	人身事故件数/千人	-	-
財務	コスト/人	103,714円 (43.34)	3.00点
財務	コスト/面積	2,397円 (43.39)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	46	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	44.0	年	小計	46	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	40	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	157	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	196	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	40	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	196	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	317	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署分庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

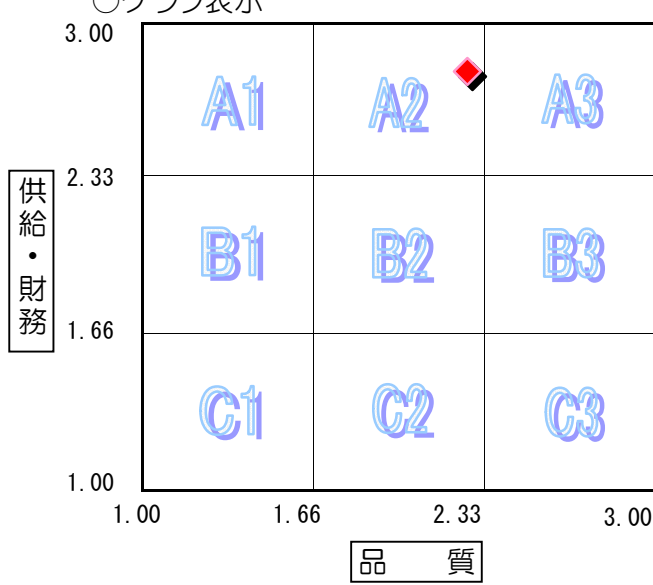
基本情報	施設番号	907075011033	施設名称	浜松中央警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	浜松中央警察署		
	用途	警察施設		設置年	1987	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	8,357.52 m ²	延床面積	4,984.77 m ²		内部 
	土地台帳価格	513,582 千円	建物台帳価格	699,555 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	43,016 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 曳馬駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 A3 品質 2.35点 供給・財務 2.80点

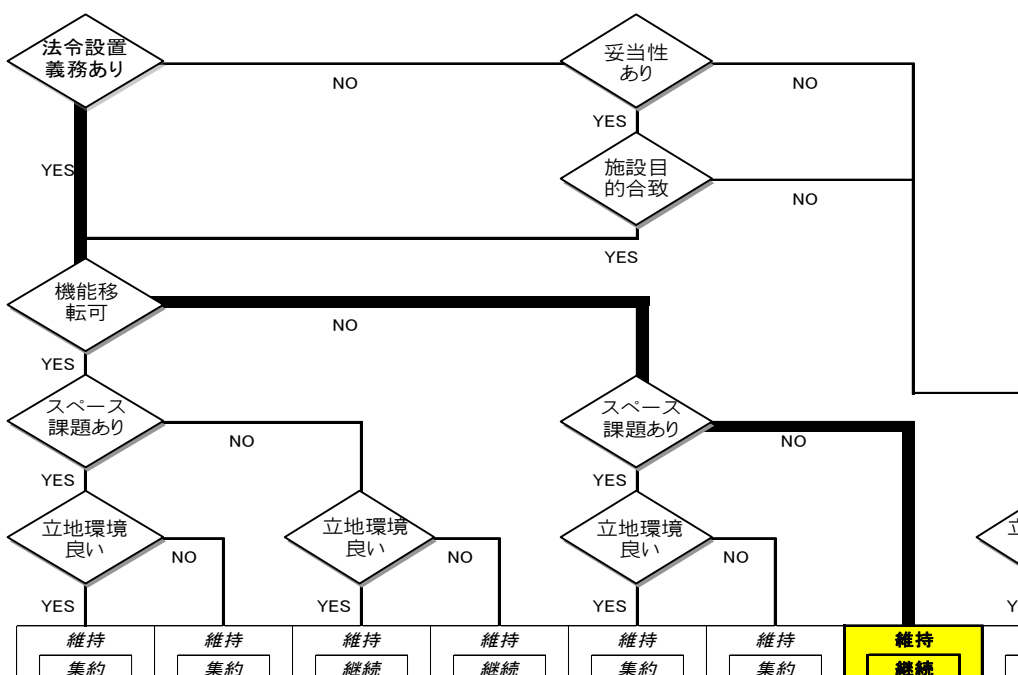
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	29.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1999.0年	2.00点
		外壁 2015.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2016.0年	3.00点
		受変電設備 2016.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.78GJ (14.75)	1.00点
供給	面積/人数	7.77m ² (49.56)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (60.59)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	11件 (67.29)	3.00点
財務	コスト/人	132,175円 (43.85)	3.00点
財務	コスト/面積	6,815円 (49.72)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,042	百万円	維持管理費 B(※2)	220	百万円
	使用年数 A(※1)	29.0	年	小計	1,262	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	287	百万円	維持管理費 (※3)	76	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	363	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	287	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,415	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,286	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	劣化状況:車庫棟階段手摺にクラックあり 空調設備更新工事(平成28年度)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

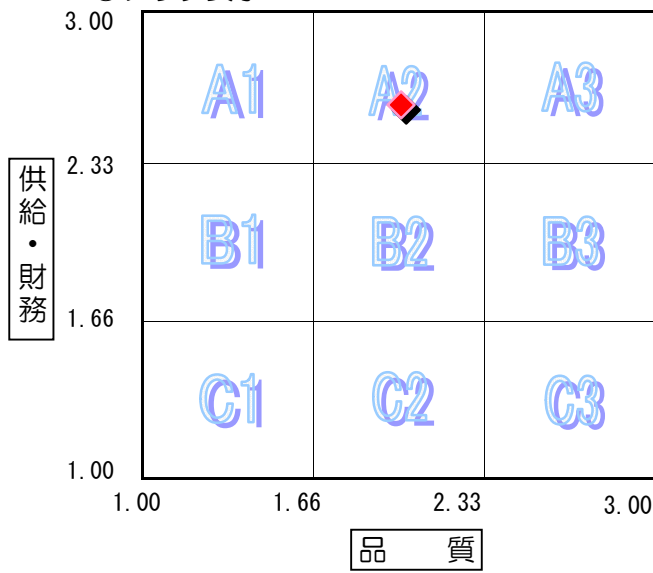
基本情報	施設番号	907078011001	施設名称	浜松東警察署		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	浜松東警察署		
	用途	警察施設		設置年	1989	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による				
	敷地面積	4,257.79 m ²	延床面積	3,635.81 m ²		
	土地台帳価格	311,454 千円	建物台帳価格	371,043 千円		
	用途地域	近隣商業地域	路線価	41,060 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR浜松駅から バス10分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.07点 供給・財務 2.60点

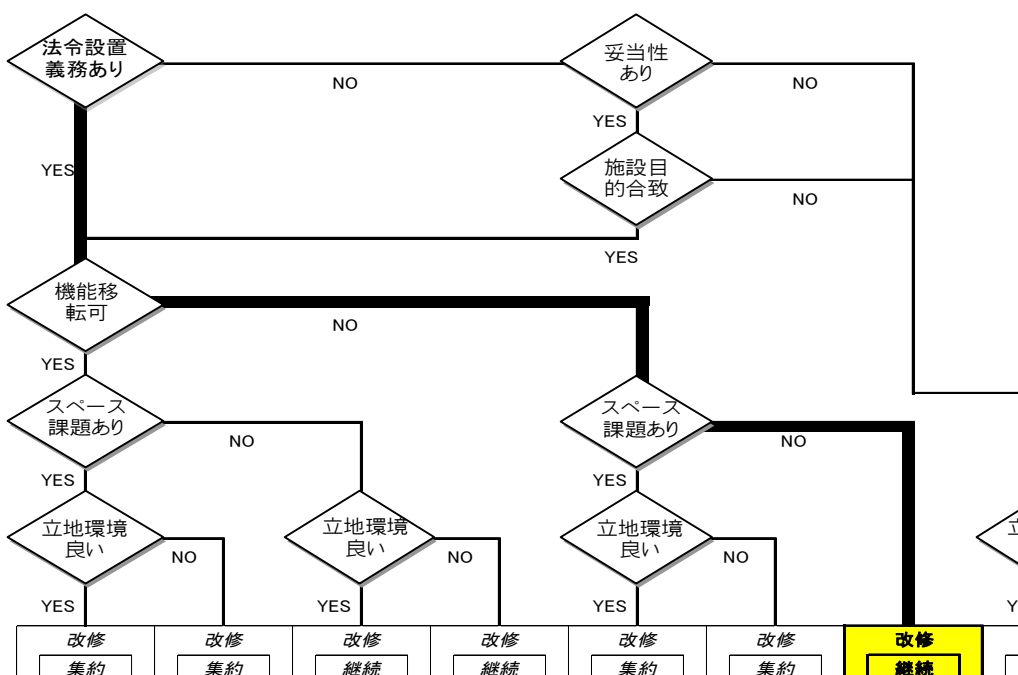
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.0年	2.06点
品質	建築劣化度	屋上防水 1992.5年	1.17点
		外壁 2006.0年	2.57点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2013.0年	2.10点
		受変電設備 2016.0年	2.10点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.07GJ (35.17)	1.00点
供給	面積/人数	4.71m ² (43.43)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	7件 (55.90)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	13件 (78.24)	3.00点
財務	コスト/人	192,202円 (44.95)	3.00点
財務	コスト/面積	9,991円 (54.27)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	654	百万円	維持管理費 B(※2)	149	百万円
	使用年数 A(※1)	28.0	年	小計	803	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	210	百万円	維持管理費 (※3)	53	百万円
	大規模改修費	195	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	458	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	210	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,032	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,668	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	外壁他改修工事(平成19年度・外壁打診調査に基づくもの) 別館耐震補強建築工事(平成20年度)
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

施設アセスメントシート

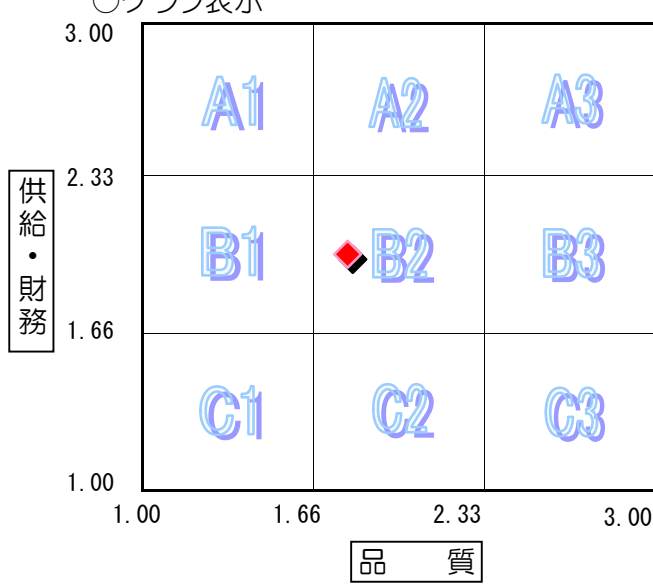
基本情報	施設番号	907080011001	施設名称	浜北警察署		外部 
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	浜北警察署		
	用途	警察施設		設置年	1989	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				内部 
	敷地面積	5,250.02 m ²	延床面積	1,878.66 m ²		
	土地台帳価格	285,024 千円	建物台帳価格	265,217 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	38,003 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:遠州小松駅から バス5分				

◆第1段階 **B2** 品質 1.85点 供給・財務 2.00点

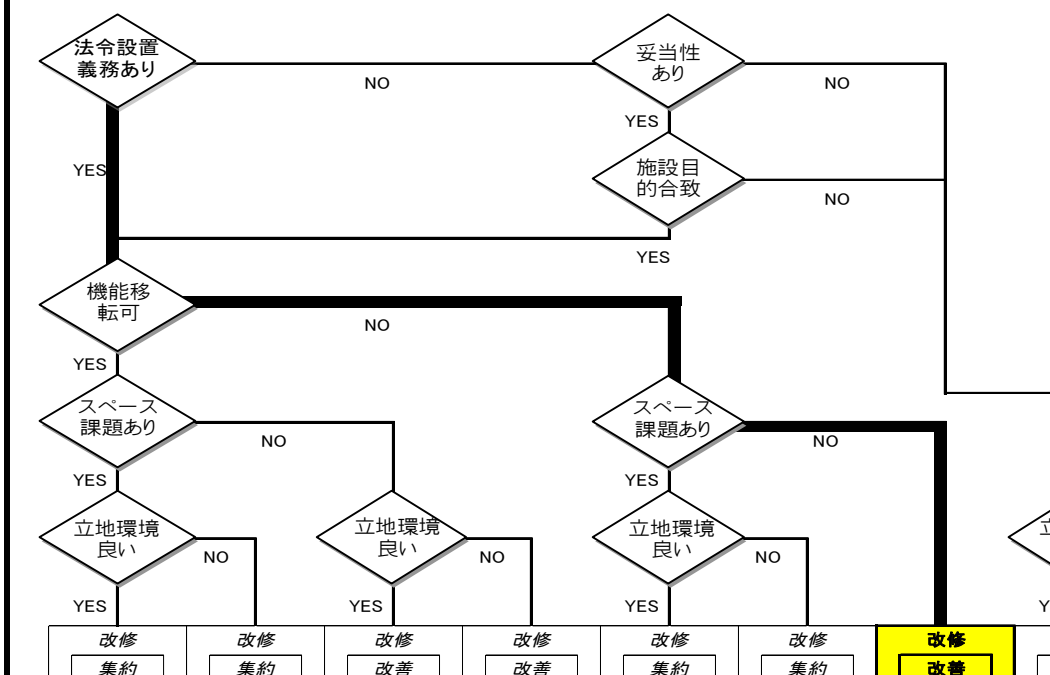
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	27.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1989.0年 1.00点
		外壁	1989.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.0年 1.00点
		受変電設備	2015.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.65GJ (18.56)	1.00点
供給	面積/人数	8.73m ² (51.49)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (45.16)	2.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (52.87)	2.00点
財務	コスト/人	274,407円 (46.45)	2.00点
財務	コスト/面積	12,854円 (58.37)	1.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	421	百万円	維持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	27.0	年	小計	491	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	108	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	134	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	108	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	533	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	862	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価


施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907081011001	施設名称	湖西警察署		外部
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	湖西警察署		
	用途	警察施設		設置年	1979	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。				
	敷地面積	2,452.62 m ²	延床面積	1,354.58 m ²		
	土地台帳価格	79,843 千円	建物台帳価格	115,750 千円		
	用途地域	工業地域	路線価	22,788 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:新居町駅から 徒歩7分				

◆第1段階 **B2** 品質 1.95点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2003.0年 2.00点
		外壁	1993.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.0年 2.00点
		受変電設備	2004.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.70GJ (17.01)	1.00点
供給	面積/人数	5.43m ² (44.87)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	5件 (43.55)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	8件 (49.29)	2.00点
財務	コスト/人	113,519円 (43.51)	3.00点
財務	コスト/面積	5,782円 (48.24)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良	NO

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	222	百万円	維持管理費 B(※2)	86	百万円
	使用年数 A(※1)	37.0	年	小計	308	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	78	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	306	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	408	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	78	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	384	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	621	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	19.12. 7~21. 2.27 耐震補強建築工事 162,120千円 19.12.12~21. 2.27 耐震補強機械設備工事 11,721千円
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907084011101	施設名称	細江警察署		外部	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	細江警察署			
	用途	警察施設		設置年	1992		
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	3,871.48 m ²		延床面積	1,196.50 m ²		内部
	土地台帳価格	55,578 千円		建物台帳価格	255,026 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	10,049 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:天浜線 気賀駅から 徒歩5分 タクシー3分					



◆第1段階 B1 品質 1.65点 供給・財務 2.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	24.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1992.0年 1.00点
		外壁	1992.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1992.0年 1.00点
		受変電設備	1992.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.78GJ (14.59)	1.00点
供給	面積/人数	5.38m ² (44.76)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	4件 (36.98)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	10件 (61.18)	3.00点
財務	コスト/人	115,906円 (43.56)	3.00点
財務	コスト/面積	7,653円 (50.92)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	430	百万円	維持管理費 B(※2)	71	百万円
	使用年数 A(※1)	24.0	年	小計	501	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	69	百万円	維持管理費 (※3)	29	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	98	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	69	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	340	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	549	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	H27年度に非常用発電設備の燃料タンクを改修(増量) 約2,400万円。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

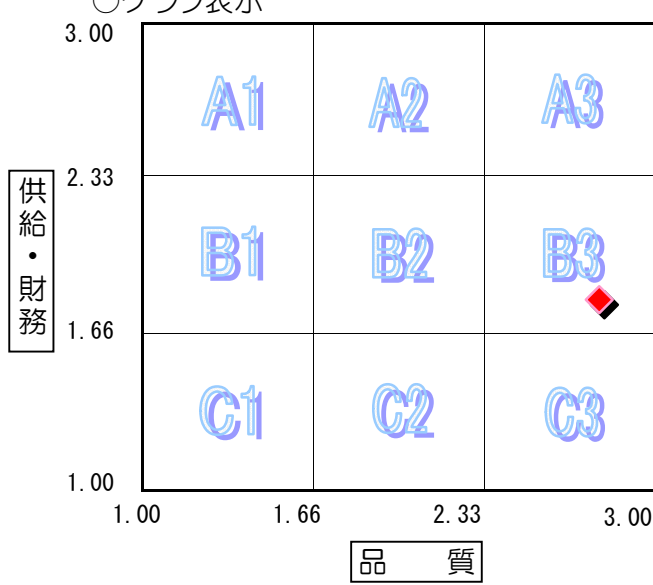
基本情報	施設番号	907085011001	施設名称	袋井警察署森分庁舎		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	袋井警察署			
	用途	警察施設		設置年	2013	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	1,034.13 m ²	延床面積	228.00 m ²			
	土地台帳価格	39,814 千円	建物台帳価格	74,514 千円			
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	26,950 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅:天竜浜名湖鉄道森町病院前駅から徒歩5分					

◆第1段階 B3 品質 2.90点 供給・財務 1.80点

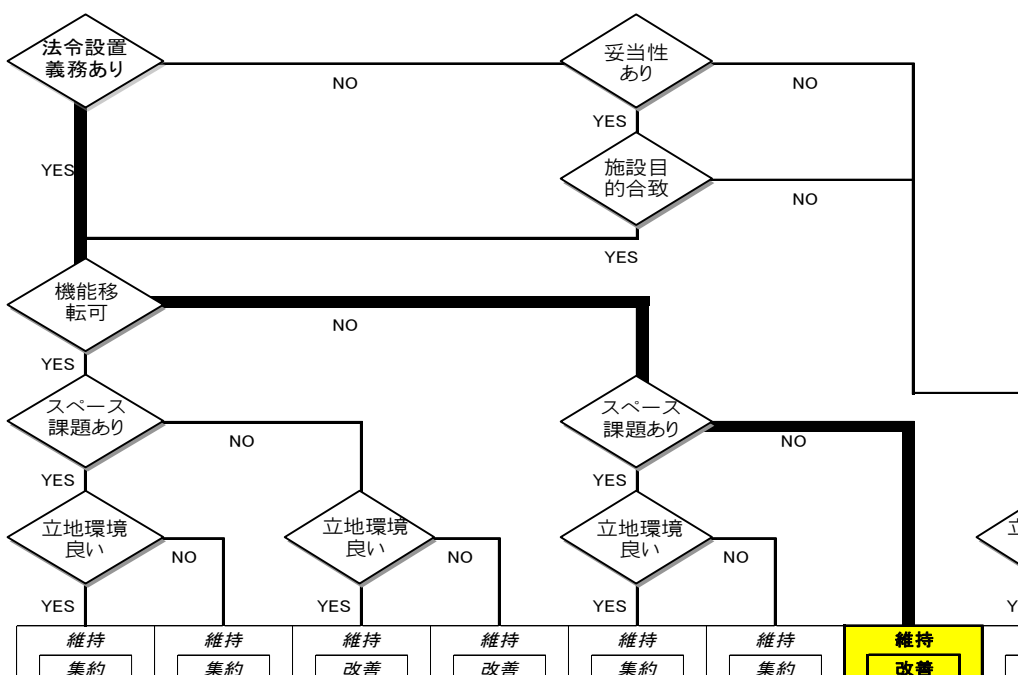
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	3.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2013.0年 3.00点
		外壁	2013.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2013.0年 3.00点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.32GJ (28.09)	1.00点
供給	面積/人数	3.19m ² (40.36)	2.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	3件 (32.72)	1.00点
供給	人身事故件数/千人	5件 (36.54)	1.00点
財務	コスト/人	60,249円 (42.54)	3.00点
財務	コスト/面積	4,228円 (46.02)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	77	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	3.0	年	小計	77	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	13	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	13	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	13	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	65	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	105	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署分庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	907085011012	施設名称	袋井警察署		外部 	
	財産管理者	警察本部	財産事務取扱者	袋井警察署			
	用途	警察施設		設置年	2011	内部 	
	施設目的	警察法第53条及び警察法施行令第5条による。					
	敷地面積	5,136.00 m ²	延床面積	3,061.78 m ²			
	土地台帳価格	316,722 千円	建物台帳価格	785,032 千円			
	用途地域	近隣商業地域	路線価	43,167 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: JR袋井駅から 徒歩15分 タクシー5分					

◆第1段階 A3 品質 2.90点 供給・財務 2.80点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	5.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2011.0年	3.00点
品質		外壁 2011.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2011.0年	3.00点
品質		受変電設備 2011.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.26GJ (29.77)	1.00点
供給	面積/人数	6.50m ² (47.01)	3.00点
供給	刑法犯認知件数/千人	8件 (57.34)	3.00点
供給	人身事故件数/千人	9件 (55.98)	3.00点
財務	コスト/人	158,984円 (44.34)	3.00点
財務	コスト/面積	4,777円 (46.80)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	835	百万円	維持管理費 B(※2)	27	百万円
	使用年数 A(※1)	5.0	年	小計	862	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	176	百万円	維持管理費 (※3)	54	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	231	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	176	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	869	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,404	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	警察署庁舎として毎日利用している。
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。